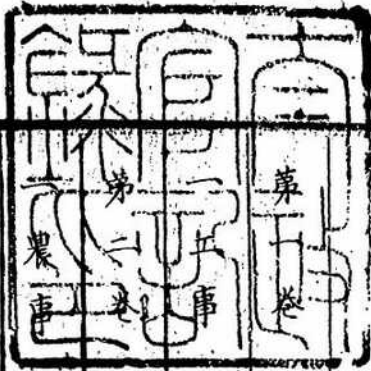


高寄正風
報
告
視察功程
上

146
7
函
三十五架
上
三册
第十類
俵大

国立公文書館
分類
排架番号
2 A
33-6
① 477

477



目錄

第五卷

三冊

第二卷

三冊

第三卷

一税法

一冊

一兌銀鋪畧說

一冊

一税関規則

一冊

一華盛頓府勸農局制度及費額大略

一冊

三峯議官高崎正風

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百



教師ニヤ工ノ氏講説

工 事 上

Main body of text on the left page, organized into vertical columns. The text is mostly illegible due to the quality of the scan.

...

トラホーピユブリツク公工ノ大意

トラホーピユブリツクハ全國人民ノ便益ノ為ニ政府ヨリ創營スル所ノ公工ニシテ第一都府ヨリ都府ニ通スル大道運漕河鑄路城砦等ナリ第二州ヨリ州ニ通スル大路裁判所ノ建築等ナリ第三邑路小學校等ノ造營ナリ

巴理府ニ公工事務省ヲ設ケ全國ノ工部ヲ總括セシム然レ公工ニシテ此省ノ管掌ヲ受ス建營修繕スル者アリ即チ城砦武庫及ヒ銃砲兵器ノ製造所等ノ如キハ陸軍省之ヲ掌リ海軍港海岸ノ砲廠造船場等ハ海軍省ノ所轄タリ其他學校寺院僧堂ハ教育省ニ屬シ獄舎及ヒ州廳電信局等内國省ニ附ス又タ會計省ニ於テ烟草ノ製造所火藥製造所ヲ所轄ス

佛蘭西ニ於テ烟草ノ製造ヲ人民ニ許サス國中ニ産
スル所ノ烟草ハ悉ク買收シ政府ニ於テ之ヲ製造シ
テ發賣ス會計ハ租税ヲ主掌ス烟草ハ最モ高税ノ品
物ナリ故ニ烟草製造所ハ此省ニ於テ管掌セリ
農商事務省ハ家畜医校牧羊場牧馬場術藝學校器械及
人造物
ノ見本ヲ温泉場ヲ掌リ公工事務省ハ道路橋梁運漕河
鑄路商港開墾脫水術灌水術乾治術等ノ構造バチマン
シウキールヲ管セリ

公工事務省ハ構造ニ関スル働キニ於テ建築師ヲ所轄
シ道路橋梁ノ公工ノ為ニハ道路橋梁家ヲ管掌セリ此
二吏ハ諸科学学校中ノ最モ卓越セシ生徒ヨリ撰舉セリ
建築師ハアルシテツクエコールデーサアールエメチ
エノ検査ヲ受シ者ニ非サレハ之ニ任セス新鑿鑛路燈

明臺等ノアルシテツクハホンエシヨースエー橋梁道
路ノ學校ヨリ撰擢ス

エコールホンエシヨースエーハ諸工藝ヲ研究スル學
校ナリ故ニ公工事務執政ノ所轄タリエコールポリテ
クニツク術藝學校ヨリエコールホンエシヨースエー
道路橋梁學校ニ入ル者ハ先ツアンゼニエールニ舉ケ
ラレ夫ヨリアンゼニエールアンセーフアンスペクト
ールゼ子ロート順ヲ逐テ昇級ス

監督長 アンスペクトールゼ子ロートハ十五員アリ佛全
國ヲ十五ノ監督部ニ分割シ一ノ監督長一ノ監督部ヲ
所轄シ各他部ニ関スルヲナシ若シ自己ノ部内ニ公工
等ノ事起レハ則チ就テ之ヲ監視シ且ツアンゼニエールノ
簿冊ヲ監閱スヘシ

監督長ハ公工省中ニ於テ道路橋梁ノ會議ヲ起シ執政
之カ會長トナル此會議ハアンゼニエールニ依テ草創
セル公工ノ圖面及ヒ草案又々總テ街上ニ於テ各ノ所
存ヲ陳述セシムルヲ要ス

執政ハ會長トナリテ其席ニ臨ムト雖ヒ自己ノ考ヲ
速ルニ非ス唯監督長ノ論議ヲ聞テ其可否ヲ決定用
捨スルノミ

監督長ノ下ニアンゼニエールアンゼーフ及ヒアンゼ
ニエールアリ一州毎ニ設置セリ一ノアンゼニエール
アンゼーフ各ノ數員ノアンゼニエールヲ所轄シ恒ニ
之カ監督ヲナスニ吏共ニ常ノ事務ヲ委任セリ常ノ事
務トハ即チ道路橋梁ノ造築及ヒ車ノ警保或ハ大道ノ
規則ニ違背スル者ヲ監証ス其他ニ格段ナル事務ヲ任

セラレタル同官アリ即チ大川溝河ノ船艦通行ヲ注視
シ若シ障礙ヲ生スレハ則チ修理ヲ加フ

セーヌ河ノ上流ヨリ巴理斯ニ至ルマテヲ掌ル同官アリ
リ之ヲ四ツニ分割シテ所轄ス即チ巴理斯ニ一名アリ
巴理斯ヨリロアンノ間ニ一名アリロアンヨリアー
ブルノ間ニ一名アリ各ノ數名ノ属官ヲ所管セリ此佗
佛國水流ノ邊ニハ必ス此官ヲ配置シ恒ニ注意シテ修
管ヲ怠ルヲナカラシム

灌水術脫水術ヲ施ス處ニモ亦同官ヲ置キ商港及ヒ燈
臺等ニ掛ケ置ク所ノ同官アリ

又々別段ニ鐵路ノ監督ヲ任セラレタル同官アリ

鐵路會社ヨリ鐵路開造ノ暗算ヲ立テ公工事務省ニ
願出シ許可ヲ請レハ則チ鐵路造管中此ノアンゼニ

キルヲ遣ハシ監督セシム

又夕銚路落成ノ後監督セシムルアンゼニエールアリ
始メ銚路開造ノ願ヒ免許ヲ受ル中種々ノ約束アリ
故ニ其約束ヲ確守セシメン為ニ置クナリ此アン
ゼニエールハ常ニ其所ニ任シ他ニ轉スルナ
シ

アンゼニエールヲ銚路ニ設置キ監督セシムルヲ佛
蘭西ニ於テ太夕之ヲ緊要トス詢ハ此漁車ハ一日ニ
幾回往返シ何時ニ何地ヲ發シ何時ニ何地ニ着スル
ヤ始メニ規則ヲ立ツ然ルニ後チ或ハ往返ノ度數ヲ
増減シ或ハ發着ノ時間ヲ變換スル等ノ事アレハ人
民便益ノ為ニ設ケシ銚路却テ大不便トナリ随テ乗客
モ減少シ自然ニ衰微スヘシ此ノ如キノ件數ケ余ア

リ故ニ約束ヲ嚴ニスルハ銚路第一ノ要務ナリ斯ノ
アンゼニエールヲ設ケ恒ニ監督セシム万一違約ノ
事アレハ人民之ヲアンゼニエールニ訴ヘアンゼニ
エール之ヲ本省ニ上告シ直チニ法ニ依テ之ヲ罰ス
故ニ銚路會社モ忽ニスル能ハス故ニ銚路監督ノ官
員ハ銚路會社ニ於テ恒ニ畏憚セラレ威權太夕盛ン
ナリ此アンゼニエールノ裁俸ハ銚路會社ヨリ官ニ
收メ官ヨリ是ヲアンゼニエールニ與フ

アンゼニエールノ下ニコンジクトールホンエシヤウ
スエー道路橋梁頭取ト云モノアリ是レハ一ノ検査ヲ
受テ後此ノ稱号ヲ取ルナリ此外ニ又夕下吏アリ即チ
江河堤防燈臺等ノ番卒ナリ
コンジクトールハエコールポリテクニツクヨリ出

又同、様ニ役後セラレ、モヲナリ
 中ニ世ニ立リル數員ノ中ニ種々階級差等アリト雖
 凡何モ獨斷ヲ以テ事ヲ行フノ權ヲ有スル者ナシ必
 久米省執政ヲ命令ヲ奉シ或ハ州知事ノ指揮ニ從テ
 事ヲ行フヘシ
 一州中ノ事ハ知事「ア」ニセニエリル「ア」ニセ「フ」ニ
 商議シ「ア」ニセニエリル「ア」ニセ「フ」之ヲ屬下ニ議リ
 後ニ行ク「ア」ニセニエリル「ア」ニセニエリル
 「ア」ニセニエリル「ア」ニセニエリルハ公ニ省ノ官員ニシテ諸州ニ在留
 セルモノヲ誅省ノ命ヲ奉ルハ勿論ナリト雖此州中
 ノ「ア」ニセニエリル「ア」ニセニエリルハ勿論ナリト雖此州中
 且「ア」ニセニエリル「ア」ニセニエリルハ勿論ナリト雖此州中

來ニ還ハサル者ハ「ア」ニセニエリルノ生徒トナルヲ得
 道路橋梁ノ學校ニ三年入學シテ後第三等ノ「ア」ニセニ
 エリルニ昇リ又又二年以上ヲ經テ第二等ノ「ア」ニセニ
 エリルニ昇ル又又三年ヲ經テ一等ノ「ア」ニセニエリルニ
 昇ル
 「ア」ニセニエリル「ア」ニセニエリルハ第一等ノ監督長ニ昇ル
 ニハ少クモ四年在職セザルハ無ハス又上下官ヨリ高
 官ニ進ムニハ團長ノ命ヲ以テ任セラル同職中ノ等
 級ヲ轉スルニハ執政ノ決定ヲ以テ之ヲ命ス

第一等	監督長	裁俸	一百五十万フラン
第二等	監督長	台止	一万二千万フラン
第一等	造幣師長	台止	八千万フラン
第二等	造幣師長	台止	六千万フラン

第一等 造築師 全上

四千五百フランク

第二等 造築師 全上

三千五百フランク

第三等 造築師 全上

二千五百フランク

造築師生徒 全上

千八百フランク

其他造築師ノ役宅料及ヒ薪炭諸費旅行ノ失費等ハ歳俸ノ外別ニ付與ス此費額ハ公工事考執政之ヲ決定ス造築師ハ國ノ公工ノ外ニ州或ハ邑或ハ平人ノ請頼ニ由ツテ工事ニ從事スルヲ了リ其時ハ別ニ謝儀ヲ受クルノ權柄ヲ有セリ

造築師 造築師 六十歳

造築師 六十歳

造築師 六十歳

造築師 六十歳

第一等 監督長 七十歳

造築師ハ國ノ事務ヲ假リニ辨シテ假ヲ請フコトアリ抑テ鑄造會社或ハ外國ニ雇ハルハ其ノリ然ルハ其ノ宿田リ無期ノ休暇ヲ與ヘテ宿俸ヲ與ヘス

造築師 監督長 四等ニ分ラリ四等ヨリ三等ニ昇ルニ二年間在職スハ

シ三等ヨリ二等ニ至ルモ亦二年間ヲ經テ二等ヨリ一

等ニ進ムニハ三年ヲ經サレハ其ハ第一等ヨリ導吏長

ニ昇進スルニハ三年在職ノ後ナルヘシ

導吏ハ執政之ヲ命ズ

導吏長 歲俸

二千八百フランク

第一等 導吏 全上

二千四百フランク

第二等 導吏 全上

二千百フランク

第三等導史

今上

千八百ヲラニク

第四等導史

今上

千六百ヲラニク

道路橋梁掛リノ人員ノ外ニ前ノ如ク昇進スル所ノ格
段ナル人員ヤリ即チ諸科學校ユコールホルテクニツ
クヨリ出クル生徒ニシテ組建モ前ニ同シ之ヲ鑛山社中ト
云

鑛山ミースハ即チ石炭鑛鉛等ノ鑛類ヲ云ナリ是等ハ
地底ニアル者ニシテ表面ノ地主ニハ属セサルモノナ
リ故ニ團長ノ命令ナケレハ鑛リ出スヲ許サス然ル
ニ鑛山ヲ鑛ルヲ願モノアレハ表面ノ地主ニテモ其
他ノ願主ニテモ成功ヲ遂クヘキ人物ヲ政府ニ於テ鑿
定シテ之ヲ免許ス

鑛山掛リノ人員ハ鑛山願人ニ探鑿ノ術ヲ教諭シ既ニ

鑿坑スレハ其鑿法及ヒ鑿支ノ働キ及ヒ地主ノ妨害ニ
ナルヤ否ヲ監視スルヲ要ス

鑛山掛リノ人員ノ組建ハ左ノ如シ

鑛山監督長ハ五名アリ佛國ヲ五部ニ分割シ一名一部
ヲ所轄セリ此五名ノ監督長鑛山會議ヲ起ス執政會長
トナリテ鑛山ニ関セル事件ヲ議セシム其下ニ鑛山師
長及ヒ鑛山師アルヲ前ニ異ナルヲナシ唯鑛山ハ其場
所少キ故ニ人員モ亦減少ナリ

鑛山師ハ諸科學校ヲ出テ鑛山學校ニ入り三年學ヒシ
者ニ非サレハ此官ニ昇ルヲ得ス検査ニヨツテ昇リ得
ル下吏ハ諸科學校ヨリ出タル者ニ非ス唯鑛山師ニ從
ヒ使役セララル、者ナリ

鑛道會議

此ノ會議ハ代議員「コンスキエター」道路橋梁監督長鑛
山ノ監督長集會ス執政之レカ會長トナル其議スル
所ノ事件ハ鑛道圖面道ノ建築所用ノ材品車驛ノ場所
取締等ノ規則鑛路會社ト政府トノ約束ニ關スル事件
等ナリ

此中道路橋梁ノ監督長ハ街上ノ事及ヒ地面取除キ
ノ事件ヲ擔當シテ議スヘシ

燈明臺會議

海軍上等ノ士官橋梁監督長集會ス

蒸氣器械會議 巴理斯ニ於テ之ヲ設ク

鑛山監督長ト蒸氣器械製造家トニ依テ結構スル所ノ
會議ナリ此ハ蒸氣器械破壊ニ因テ不虞ノ災殃アルヲ
慮ル故ニ政府此會ヲ設テ互ニ其可否得失ヲ陳述討論

セシム

公工事務執政ハ州知事造築師監督長等ト會議シ公工
ノ事件ヲ決定シ輔佐ノ官員ト共ニ省中ノ事務ヲ施行
ス

書記長官 セクレツテールゼ子ロ一ハ省中諸官員ノ進
退黜陟ヲ掌リ恒ニ執政ニ代リテ花押ヲナスノ權ヲ有
セリ

道路橋梁ノ長官ハ格段ニ鑛道橋梁ノ事件ヲ任當シ執
政ニ代リテ花押ヲナスノ權アリ此ノ兩官ノ下ニ多少
ノ上下官員アリ然レモ皆長官ノ指揮ヲ受ク事務ヲ取
行フ者ニシテ特權ヲ有スル者ナシ

省中ヲ八寮ニ分ツ每寮長官一名ヲ置テ總括セシム寮
中ニ多少ノ局ヲ設ク各局局長ヲ置テ一局ヲ總括セシ

八谷家各為教名ノ官員ノ附久
八家ハ抑々書記寮常員寮日計寮鑛山寮道路福米厩運
滑河兼發遣三寮ナリ各寮定掌ノ華券ナリ云々
久々月日

前員久ハ政務ノ補助ニ
其方諸員久ハ政務ノ補助ニ
一説云

第一ハ豫メテハ廣ク是類ノ事定ニ意成リ期限ノ約
而シテ一及初度ニ止ム其費額ノ増減ニ及ハ期限
選進及ハ其用ノ限等ハ一ハ至リ難世亦及ニ増進
此日豫メテハ廣ク是類ノ事定ニ意成リ期限ノ約
而シテ一及初度ニ止ム其費額ノ増減ニ及ハ期限
選進及ハ其用ノ限等ハ一ハ至リ難世亦及ニ増進

事二政務ニ於テ工筆ヲ起スニ際シテ總計ヲ年ニ二筆
落成ノ後ナリ用ノ面積ヲ檢閲シ工筆ノ難易ヲ觀察
後ナ定價ヲ考テ

事三ハ政務ニ於テ工筆ニ用ニハキテノ旅費ノ善志ニ
用事ノ厚ク直ニテ定メ及修ムルキ近ク二筆ノ難易
同時ニ指示スルナリ下セシセリナリ工筆ノ難易
止リ云佛蘭西ニ於テハ天抵此三極ノ法ヲ用ニ

此約更ハ政務ニ確テ止ルキ要ス諸事久ハ此二筆
幾何ノ金額ニ示別受テ何事ノ田用ナリハ減就スル
事出カ記シ花押ニテ其指ニ止置シ恭極王ノ諸員久
合シ金額ヲ其用某田ニ運滞ナリ掃七典力ハキ由テ錄
シ花押シテ諸員久ニ渡シ置ナリ諸員久ハ執政ニ依
テ定メテラレタル定價現則テ遵守セザルハカラス

テ定メテラレタル定價現則テ遵守セザルハカラス

大
三

此定價規則ハ省中ニ於テ道路橋梁家ニ商議セシメ
テ作ラシムル所ナリ

此外ニ格段ナル規則アリ詢ハ一工事ヲ起スニ造築師
アシヤニエールノ概算書ヲ示シ何某ノ金額ニテ請負
スハキヤ否ヲ請負人ニ問フ請負人之ヲ受ケ其概算書
昔カ胸算合サレハ辞スルモ妨ケス故ニ一般ノ定價規
則アレハ之ヲ遵守スルハ當然ナリト雖モ實際ニ至ツ
テハ自然定價規則ヲ踏ミ難キ事アリ是レ此ノ格段ノ
規則ヲ設ル所以ナリ

造築師ノ豫算書ニハ建築ノ模様及ヒ内外兩部ニ用ユ
ル所ノ水石ノ材質ニ至ルマテ微細ニ記載ス故ニ請負
人一ツモ欠缺スル能ハス
約束ノ法種々ノ中ニ最モ肝要ナル事件ハ譬ハ一ノ新

鑿ヲナスニ其縱横及ヒ淺深ノ寸尺及ヒ職人雇支ノ賃
錢所用ノ材質ハ何々ト定メ総費幾額ヲ拂ハンヲ約
定ス之ヲトツイト云_{証文}トツイ_ノ片_面ニハ右ノ
通り総費ヲ記シ其片面ニハ詳密ノ算計ヲ載ス詢ハ山
ヲ鑿抜シ崩壞ノ憂ナキ為ニ縱横何尺何寸ノ間々煉化
石或ハ石ヲ疊ム其價ヒ何程某ノ石何箇某ノ木何本此
價何程ト云類ヲ悉ク記スヘシ

請負人及ヒコンセンセツシヨ子ール_{コン}スユシアール
受負ハ是ヲ以テ業トスル者甚々多シ故ニ工事ヲ起
スニハ是等ノ人数ヲ集メ銘々概算ヲ立シメ其内
ノ最モ廉價ナル者ニ免許ス

請負人ニ公エテ命スルハ政府其人ヲ撰抜シテ命スル
ニ非ラス政府ヨリ其人ヲサシテ命スレハ必ス多少ノ

煉瓦ヲ米シ且ツ思弊モ生シ易キ程アリ故ニ公工ヲ起
リントスルニハ其州ノ知事ニ命シ某月某日ニアジュ
シカツシヨシニ仕事ヲ興フレ儀ヲ行フ由ヲ記シ粘壁ニ
シテ普ク布告ス其日州知事州會議員ユンスエーエプ
レフエクナール及ヒ在州ノ造築師長等集會シ請負
人数名各封書ヲ携へ來リ會議所ニ出ス其書中三ツノ
約束アリ左件ノ如シ

第一ケ條 何某ハ幾計ノ工事ヲ擔當スルニ堪ヘキ由
ヲ記セリ但シ此一ケ條ハ自己ノ書付ニアラス大抵有名ノ建築師或ハ造築師ノ証書ナリ
第二ケ條 此工事ニ擔當スルニハ証金コシヨンスヤ
ン何額ヲ出シ置ヘキ由ヲ載ス

第三ケ條 幾何ノ金額ヲ以テ此工事ヲ請負スヘキ豫
算書ヲナス

詢ハ三十人ノ請負人アレハ先ツ第一ケ條ノ此工事ヲ
成遂スヘキ伎倆ノ有無ト携來スル所ノ証書ト是レマ
テノ實効トニ照較シ檢察鑒定ス大抵此検査ニ於テ退
ケラル、者多シ先ツ三十人中二十六人退ケラレシ者
トナシ残ル四人ノ請負金額ノ概算書ヲ檢閲シ政府ノ
概算書ト比較シ詢ヘハ政府ノ概算五万フランクトシ
テ請負人ノ概算一人ハ九万フランク一人ハ八万フラ
ンク又一人ハ五万五千フランク又一人ハ三万フラン
クト高下四段アル片ハ政府必ス五万五千フランクノ
者ニ免許ス

三万フランクノ下價ニ命セサル所以ハ政府ノ概算
最モ精密ニ涉リザヒ餘裕ナキ算計ナリ故ニ二万フ
ランクヲ減損シ請負スヘキノ理ナシ若シ此者ニ命

世ハ工ノ粗ナレ必セリ是ヲ以テ命セサルナリ
既ニ其人定レハ知事之ヲ命シ定規ノ條件ヲ達示ス然
レモ規則外ノ事件アレハ執政之ヲ命ス
請負人ヲ命スルニ此ノ如クスレハ二ノ益アリ一ハ
知事偏私ノ嫌疑ナク且ツ賄賂ノ悪弊ヲ生セス一ハ
工事ニ念ヲ注キ價直ヲ廉ニスヘシ
請負人一紙ノ約束書ヲ受取り工事ヲ始ムレハ造築師
恒ニ其約束ヲ遵守スルヤ否ヲ監督スル故ニ一ツモ約
束ヲ變シエテ粗スル能ハス然レモ良モスレハ奸計ヲ
廻ラシ表面ニハ約束ノ木石ヲ用ヒ内部ニハ飛思ノ材
ヲ用ユル等ノ事往々アリ此ノ如キ事件アレハ忽チ破
却シ再築ヲ命ス
造築師若シ請負人ト合夥セハ如何ナル奸曲モ行ハ

ルヘシ其防禦ハ如何ト問フシヤ工一氏曰ク道路
橋梁師ノ社中ハ其風儀極メテ正直ニシテ佛蘭西ニ
於テ最モ高名ナリ此社中ハ大抵富貴ノ人多シ且ツ
學問成熟品行善良ナル者ニ非サレハ此員ニ備ルヲ
得ス故ニ決メ此弊アルヲナシ然レモ建築師アルレ
テツクトハ時アリテ竊ニ請負人ト密謀シ政府ヲ欺
罔スルヲアリト云

受負人工事ニ掛リ半途ニ至リ概算ノ相違ヲ悟リ約束
ノ材品ヲ用ヒテハ損亡トナル故ニ約束交換ノ事ヲ歎
願スト雖モ決シテ採用スルヲナシ論ハ堤防ヲ築ク半
途ニシテ大雨洪水ノ為ニ全ク流没シ新ニ換築スルト
雖モ政府ニ於テ之ヲ顧ミルヲナシ
見年「ラ」ヌ 地名ト「ブ」レストトノ間ニ鑄道ヲ開キシ

時始メ一メートル四方ヲニフランクニ豫算シ請負
工事ヲ始メシカハ道路巖石意外ニ人カヲ賞シセフ
ランクトスルモ尚ホ足ラス終ニ十四フランクニ至
リシテアリ此時ハ特リ受負人ノミナラス政府ニ於
テモ其豫算ヲ粗漏ニシ大ナル違算ニ及ヒ造築師現在
其難工ヲ見聞シ遂ニ其情實ヲ歎願ニ及ヒ採用シテ
其餘費ヲ拂ヒシテアリ然レモ是レハ實ニ千載ノ一
事ニシテ決シテ例トスルニ足ラス

風雨火災等ハ始ヨリアルルヘキ物ト見做シテ工事ヲ起
ス故ニ之カ為ニ如何程損失アリモ政府ニ於テ関スル
ヲナシ然レモ修工中或ハ軍事起リ敵兵ノ為ニ碎破セ
ラレ或ハ土寇蜂起シテ毀壞セシ如キハ實ニ非常不虞
ノ變難政府モ之ヲ傍觀スルノ理ナケレハ其失財ヲ補

助セサルヲ得ス請負人モ亦之ヲ歎願スルノ權利ヲ
有セリ

或ハ政府官吏ノ指揮ニ従テ成ル工事ニ過失アレハ受
負人州會ニ付テ出願スルノ權アリ

近年或州ニ於テ公營アリシ時造築師某下知シ壁ヲ
塗ラシメントセシニ職人其時節ノ不可ナルヲ演舌
スレモ用ヒスシテ塗ラシメシニ果シテ嚴寒ニ逢ヒ
其塗壁損失シ春ニ至リ再ヒ塗換シ事アリ此時受負
人官吏ノ下知ニ従ヒ看ハ是ノ如キ損失ニ及ヒシ情
實ヲ具ニ歎訴シ政府ニ於テモ之ヲ採用シ其償金ヲ
與ヘシテアリ如是キ事故アリテ政府ニ歎訴シ採用
セラレサルモハ州會ニ依リゴンスエーエテターノ
裁判ヲ乞フテアリ

約ハ十万フランクノ請負ヲ定メテ修エヲナスニ半途ニシテ代金ヲ乞フテアレハ其工事ノ成就セシ多クニ應シ凡ソ三分ノ一分三万フランクヲ渡ス而シテ其三万フランクノ中ヨリ十分ノ一ヲ引残シ置クナリ政府ヨリ請負人ニ金ヲ拂フニハ兼テ拂フヘキ日限ヲ定メ置クヘシ

請負人若シ職人雇支ニ賃錢ヲ拂ハサル中ハ請負人ニ拂フヘキ金ヲ政府ヨリ直チニ其職人雇支ニ拂ヒ渡スナリ

賃錢ノ拂方停滯スレハ日稼ノ細民ハ忽チ活計ニ困ム故ニ自然其雇役ヲ厭フモノ多クナリ工事ノ功ヲ奏スル遲延ノ憂アリ然ル中ハ造築師其情實ヲ政府ニ以聞シ本文ノ所置ニ及フナリ

佛蘭西ノ法律ニ於テ譬ハ茲ニ四人ノ財主一人ノ借リ主アリ其借リ主事故アリテ返金ノ方ヲ失ヒ分散ニ及フキハ所持ノ家財悉ク沽却シ其代金二百フランクアレハ四人ノ財主四ツ割ニシテ五十フランクツ、受取ル規則ナリ然レニ借主若シ職人ヲ雇ヒシ事アリテ未タ其賃錢ヲ拂ハサルアレハ先ツ其二百フランクノ中ヨリ職人ノ賃錢ヲ皆濟セシメ其餘ノ金ヲ四人ノ財主ニ分ツヘシ財主ハ金ノ高ニ應シテ割リ職人ハシカラス

前ニ説シ如ク請負人ニ内金ヲ拂フニ百フランクニ十フランクツ、引残シ置クハ他ニアラス其工業ヲ堅固ニ成シシメン目的ナリ此外ニ又百フランクニ一フランクツ、引残シ置クナリ夫ハ職人修工中不時ノ

過傷等了リシ時ノ用意ニ備置クナリ若レ職人無難ニ
ヲ落致スレハ則チ請負人ニ返シ没ス若シ過傷人数人
ニ及ビ共ノ金ノミニテ療費ニ充ルニ足ラサレハ政府
ニ於テ之ヲ補典ス

一般ニ修工中職人過傷了レハ則チ病院ニ下シ療養ヲ
加ヘ遣スナリ若シ病院ノ設ナキ僻陬ナレハ自己ノ家
ニテ加養セシメ醫師及ヒ藥料ヲ典フ且ツ職人一日ノ
賃錢四フランクナレハ半減ニシテニフランクヲ政府
ヨリ拂典フ或ハ両手ニ疵ヲ受ケ働クヲ能ハサレハ政
府ヨリ一年間ハ拂ヒ典フヘシ

假令職人自身ノ過失酒ニ酩酊ニヨリ傷疵ヲ得ルト雖
モ猶ホ上件ノ如クスヘシ若シ請負人ノ不行届點燈ス

ニ點セス暗黒ノ為ヨリ過傷スレハ裁判所ニ出頭シ相
ニ過傷スルノ類

應ノ償金ヲ出サシムル了アリ民法ニ詳カナレハ爰ニ贅セス

公工ノ外尋常ノ人ニ雇ハレシ職人ハ假令如何ナル
過傷スルモ決テ顧ミル了ナシ

若シ公工ノ為ニ過傷シ死ニ至ル了アレハ造築師ヨリ
公工事務省ニ其情實ヲ上告シ執政ノ決ヲ以テ其寡婦
子弟等ニ扶助金ヲ典フヘシ其員數ハ其家内活計ノ難
易ニ從ヒ適宜ノ處分アルヘシ若シ請負人ノ過ニヨリ
死ニ至レハ政府ヨリ相應ノ金ヲ典ヘ且ツ請負人ヨリ
モ亦若干ノ扶助金ヲ典フ

請負人彼約束書ニ違背セシ了アレハ半途ニシテ請負
ヲ廢スル了アリ或ハ「レジ」ト云ニ處スル了アリ「レジ
」ハ道路橋梁導吏ヲシテ請負人ニ代ラシム諭ハ請負
又ノ後見ノ如シ故ニ職人ノ指揮万事ヲ任受シ全功ヲ

卒リシ後ニ其費額ヲ請負人ニ拂ヒ没スナリ
若シ請負人約束ニ違背スルヲアレハ造築師州知事ニ
報告ス州知事請負人ヲ召呼ヒ怠慢ノ罪ヲ責メ十日ヲ
限リ約束ニ從ヒ換修スヘキ由ヲ達ス若シ十日ヲ経テ
尚未怠ル由ハ州知事公工事務省ニ上告シ「レジ」ニ所
スルヲ直達或ハ書面ヲ以テ達スヘシ
此際ニ注意スヘキ情實アリ大抵造築師ト請負人ト
ハ相和セサル者アリ如何トナレハ造築師ハ官ノ為
ヲ主トシ請負人ハ自己ノ為ヲ主トス故ニ其趣意ノ
相及スルヨリ不和ヲ生ス自然ノ理ナリ然ル由ハ互
ニ相軋リ僅少ノ事モ假借セスシテ出訴スルヲアリ
故ニ此ノ如キ由ハ執政知事ニ命シ深ク其情實ヲ探
索シ然ル後ニ處分スヘシ此ノ如キ事ハ實ニ稀有ノ

事ナリ

上件ノ事實アリテ工事既ニ半途ニ至レハ「レジ」ニ處
スル多シト雖モ或ハ因循手ヲ下サス或ハエヲ始メ幾
何ナラスシテ猶豫遲緩スル者ハ畢竟自己ノ違算ニテ
利益薄キカ故ニ他人ニ譲リタキ情實アル故ナリ是ノ
如クニ至レハ請負人ヲ廢シ更ニ始メノ如クシテ他人
ニ命スヘシ然ルニ此ノ如クニ至リ再ヒ命スルニハ始
メノ如ク請負人ヲ企望スル者少ナシ故ニ始メ五万ヲ
シテ請負セシモノハ必ス六万ヲラシト望ミ出
ヘシ其時ハ六万ヲラシニテ許容シ而シテ餘ノ一万
ヲラシクハ前ノ請負人ヨリ償出セシムヘシ
以上ハ請負人ノ過失ニヨリテ止メレ時ノ規則ナリ
時ニヨリ請負人ノ怠慢ニ非スシテ停止セルヲアリ

譬ハ不慮ノ軍事等起リ止ヲ得スシテ停工ニ及フ
アル時ハ之カ為ニ新ニ製造セシ器械等ノ代價及ヒ
一切ノ失費ヲ政府ニ負ヒ受ケ且ツ請負人ノ利益ヲ
モ典ヘ拂フヘシ若シ請負人半途ニシテ死スル
レハ其工事ヲ停廢ス然レトモ若シ其子又ハ親族ノ
内ニ請負継業スル者アレハ之ヲ許スヘシ然ラサレ
ハ一般ニ止ムルヲ規則トス又分散ニ付テモ止ム
シ
請負人ハ奸猾ノ者多ク唯射利ノ多キヲ企望セリ政
府ニ於テモ其所ニ注意シテ規則嚴密ナル如斯シ然
レモ餘リ密ニ過キ所得薄ケレハ請負ヲ欲スルモノ
ナシ故ニ政府ニ於テモ近年此規則ノ寸尺ヲ延セリ
以上ハ請負人ノ過失變故ニヨリテ遏止スルヲ説ケ

リ以下政府ノ事故ニ因リ廢止スルヲ記ス
請負人ハ政府ヨリ事故アリテエヲ止ムル一年ノ久シ
キニ及ハハ其工事ヲ辞スルノ權アリ然レキハ是マテ
取掛リシ營業ノ失費及ヒ此工事ノ為ニ製シタル器械
及ヒ支レカ為ニ買入レシ諸材品ニ至ルマテ悉ク政府
ニ於テ買上クヘシ營業中種々ノ事故アリ論ヘハ政府
ヨリ請負人ニ渡ス所ノ約束書ニ此營業ニハ木ト石ト
ヲ錯ヘ用ユヘシトアリテ營業ニ取掛リテ後テ造築師
始メテ木ヲ用ヒ不可ナルヲ察シ都テ石ヲ用ユヘキ由
ヲ命ス此時政府ヨリ相應ノ金ヲ償典スルハ勿論若シ
之ヲ拂ハサル時ハ請負人斷然請負ヲ辞スルノ權アリ

建築師精キ熟評ニ涉リテ決定セシ約束ナレトモ實

地上ニ施行スルニ至リ此ノ如キ謀考往々之レアル
ヲ免レス

請負人既ニ約束ニ從ヒ公工奏功アレハ其趣キヲ掛リ
ノ造築師ニ告リ造築師先ツ假リニ兼諾シ二三ヶ月間
細詳振監シ全工遺漏ナキヲ見テ始メテ之ヲ信シ其由
ヲ摘記シ州知事ニ出シ州知事之ヲ公工事務省ニ報シ
始メテ全費ヲ請負人ニ拂ヒ没スナリ
此金ハ公工事務
省ヨリ州知事ニ
付シ州知事之ヲ請
負人ニ拂ヒ與フ

造築師卒工ノ届書ヲ出シテ後ナ三ヶ月ヲ出スシテ其
全費ヲ拂フヘシ若シ停滞シテ三ヶ月ヲ過レハ金ノ多
少ニ應シ利足ヲ付テ拂フヲ規則トス
始メ請負ヲ命セシ時諭ハ百万フランクノ工事ナレハ
二十万或ハ三十万フランクノ証金ヲ政府ニ預リ之ヲ

ケースデポ^トニ預ケ置キ工事卒ルヲ俟テ利足ヲ添
テ返金ス若シ其中家資分散等ノ事アレハ此金ヲ以テ
工費ニ充テ或ハ約束ヲ違背シ粗材ヲ用ユル等ノ事ア
レハ時宜ニヨリ此金ヲ以テ約束ノ材ヲ買入ル、事ア
リ此証金ト修工中没ス所ノ内拂金ヨリ引残ス所ノ金
ハ公工ヲ堅固ニ卒遂セシムル為メ最モ緊要ノ方法ナ
リ

佛蘭西ニ於テ法律中ニ人民家宅ヲ營築スルハ請
負人十年間ノ受合ヲ立ルヲ規則トス建營ヨリ十年
前ニ毀損スレハ請負人ヨリ之ヲ修理ス然レモ公工
ニ於テハ此事ナレ是レ他ナシ政府ニ於テ所用ノ材
品ヲ始メ營築ノ方法ニ至ルマテ悉ク指示シテ造營
セシムレハナリ然ルニ近來公工ニ於テモ卒工ノ後

テ十年間ノ受合ヲ立シムルノ説起レリ然レハ議論
區々未タ決定セス

コンセツシヨ子ール 免許人

免許人ハ免許ヲ受テ公エヲナスト雖モ請負人トハ異
ナリ請負人ハ工事卒レハ政府ヨリ直チニ其入額金ヲ
拂フ免許人ハ然ラス卒工ノ後チ年限ヲ定メテ人々ヨ
リ利益ヲ收メ以テ公工ノ入費ニ充塞ス 論ハ私資ヲ用
テ一橋ヲ架セ
ンテ官ニ請フ而シテ官ヨリ之ヲ免サレ工事落竣セ
ハ則チ其社選ノ人ヨリ多少ノ橋錢ヲ收メテ架橋ノ入
費ニ填
ス
免許人ハ左ノ約束ヲ確守スルヲ要ス

第一 工事ノ成就スル事

第二 定リタル日限ニ落成スル事

工事ヲ起スニハ先ツ造築師ニ命シ大抵工事ノ大

小ヲ測リ落成ノ日限ヲ豫定セシム若シ日限ヲ誤
マレハ其工事ヲ停廢ス

第三 堅固ニ修繕スル事

請負人ノ規則ハ工事終リ既ニ政府ニ引渡ス上ハ
假令不日損敗スルモ顧ルナシ免許人ノ工事ハ
然ラス其利益ヲ收ムル年限中ハ損壞ノ虞アレハ
直チニ修繕ヲ加フ

第四 年限ノ終期ニ至リ堅固ニ修繕ヲ加ヘ政府ニ引
渡ス事

鑄路ノ定期ハ九十九年ヲ以テ通例トス而シテ大
抵五十年ニ至レハ必ス破損ス故ニ其年大ニ修覆
ヲ加フ而シテ又四十年餘ニシテ己ニ政府ニ歸返
スヘキ期ト再修ノ期ト併セ至ル是ノ故ニ再度ノ

修理ハ概モスレハ粗糙ナルトアリ因テ政府豫メ
造築師ヲシテ觀檢セシム若シ粗糙ノトアレハ五
年ノ利錢ハ悉ク政府ニ收メ修理ノ費ニ充ヘシ
免許人ナル者ハ大抵鑄路橋梁等ヲ引請ケ造築スル會
社ヨリ出ツ政府ニ於テハ此工事ヲ成シ遂ルヤ否ヲ鑑
定シ免許スルナリ

詢ハ巴理斯ヨリ里昂マテノ間ニ鑄路ヲ開クニ各鑄
路會社ヲシテ鑄路ヲ作スノ草案ヲナサシム會社命
ヲ奉シ國民ノ便利及ヒ鑄路會社ノ得益ヲ測リ草案
ヲナシ公工事務省ニ呈ス執政之ヲ監督長鑄路掛ニ
下シ人民ノ便宜ニ基キ各草案ノ可否ヲ議定セシ
ム

佛蘭西ニ鑄路會社ノ大ナル者六ツアリ曰ク里昂曰

クヲリヤン曰クレスト曰クロエスト曰クバル此
外ニ政府ニ於テ造營スル所ノ鑄道アリ之ハ僻邑遐
陬ノ不便ナル處ニ住スル人民ヲ保護センカ為ニ設
ケタル者ナレハ乘客稀少ニシテ利益ナキノミナラ
ズ恒ニ損失トナルコト多シ故ニ他ノ昌盛ノ域ニ設ケ
ル鑄路ノ餘益ヲ以テ之ヲ補フニ至ル之レヲ以テ人
民保護ノ渥キ
ヲ觀ル

凡ソ工事ヲ起サントスルニハ免許人ニ下シ評議ノ上
草案ヲ作ラシム己ニ草案ヲ呈スレハ之ヲ道路橋梁師
ニ商議セシヌ執政之ヲ決議シ始テ之ヲ行フ造築師素
ヨリ之ヲ監督スト雖此請負人ノ工事ヲ監督スルニ比
スレハ稍淺ナリ
入札ヲ以テ工事ヲ命スルニ請負人ト異ナル者アリ詢

ハ橋梁ヲ架スルニ其費額ノ多少ニ関セス渡客ヨリ橋
錢ヲ收ムル利益ノ年限多少ヲ以テ之ヲ定ム譬ハ一人
ハ三十年間ト豫算シ一人ハ四十年間ト豫算スレハ三
十年ノ豫算セシ者ニ許ス

工事落成セハ更ニ執政ノ免許ヲ受ケ運送ノ賃錢ヲ足

ム

政府ニ於テ議定セシ所ノ規則ニ少シモ乖戾スルヲ能
ハス

論ハ旅客或ハ物品ヲ運送スルニ何方ヨリ何方ヲテノ
賃錢何程ト定リシ上ハ假令一錢ト雖モ其上ニ増加ス
ル能ハス

運漕河橋梁ノ會社昌盛ナラサレハ終ニ修繕ニ怠ル
アリ然ル中ハ人民自ラ出錢シテ涉ルヲ厭フアリ若

シ此ノ如クナレハ約束ノ年限半期ニテモ政府ニ之ヲ
買ヒ上ルヲアリ

譬ハ鐵路ト運漕河ト兩道アル中ハ人情必ス賃錢ノ
下直ヲ好ム故ニ漕車下直ナレハ乗客漕車ニ就キ郵
船下直ナレハ乗客必ス郵船ニ就クヘシ然ル中ハ乘
客少キ方ハ利益ノナキノミナラス年々損失トナリ
自然修繕スル能ハスシテ竟ニ荒蕪ニ赴クアリ此
ノ如キハ止ヲ得ス政府ニ之ヲ買上ルナリ

政府ヨリ議定セシ所ノ賃錢ハ一錢ト雖モ増添スル
ヲ許サスサレモ定賃ヨリ減少スルヲハ會社ノ意ニ
任ス故ニ其繁榮ヲ謀ル為ニ徃々賃錢ヲ減省スル
アリ

里昂トアビニヨントノ間ニ漕車漕船兩路アリ始メ

蒸船ノ賃錢下直ナリシ故ニ乗客多ク甚夕繁昌セシ
カ蒸車格別ニ賃錢ヲ減シタル故ニ徒テ鉄道繁昌ス
水路ハ年々衰微ニ属シ現今殆ント廢止ニ至ラント
ス

教師シヤユエー氏講説

工 事

中

本 報

公工ノ為ニ人ノ邸宅ヲ取除ル事件ニ造營スルヲ
ト云

全國人民ノ為ニ造營スル所ノ公工ハ一人ノ利益ヲ壓
倒スルヲ得ルノ理アリ故ニ政府ハ公工要用ノ土地ア
レハ漸然其地主ヨリ買取ル權アリ之ヲエキスプロ
リヤツシヨント云

今茲ニ一ノ大道ヲ創造スルニ其創造スヘキ地ニ邸宅
アレハ取り除カシメサルヲ得ス之ヲ取り除ケシムル
ニハ政府ニ於テ叮嚀告諭シ其邸宅ヲ買入ルヘシ然ル
ニ地主之ヲ肯ンセサル時ハ相應ノ代價ヲ出シ漸然買
ヒ上ルノ權アリ

全國一般ノ利益ノ為ニハ一人ノ利益ヲ欠モ妨ケナキ
條理アリ故ニ公工ニ要用ノ地アレハ地主ヨリ買入ル

へシ然ルニ又夕地主ノ損害トナルアレハ政府ヨリ償
興セザルヘカラス

公工ノ為ニ土地ヲ買ヒ取ルニ最初メール邑長ノ役所
ニ於テ各地主ノ所存書ヲ差出スヘキ粘壁ノ布告ヲナ
シ所存書ニ己ニ集マレハ「ユミツシヨ」ヲ立評議ヲ盡
セシ後予議事院ニ出シテ「ユチリテービユブリツク」
ノ利益ト云義トナシ復タ公布スヘシ

此ノ如ク政府固ヨリ公工ノ為ニハ地主ノ地ヲ取除
カシムルノ権利ヲ有スト雖モ町寧反復多少ノ手段
ヲ盡スヘシ敢テ政府ノ威權ヲ以テ地主ニ脅迫ス可
カラス

既ニ「ユチリテービユブリツク」ノ公布アリシ後ハ州知
事ヨリ公工ノ為ニ其地面ヲ賣拂フヘキ所以ノ大意ト

道路ノ圖面トヲ布告ス然ルニ開造スル所ノ道路ノ景
況ニヨリテ地主全地ヲ失フアリ半地ヲ失フアリ或ハ
僅ニ失フアリ何レモ其土地ノ人民ハ兎角地面ヲ賣拂
フ「ユチリテービユブリツク」ノ方向ヲ各々
自己ノ地面ニ波及スル無ク欲シテ種々ノ説ヲ主張ス
ル者アリ之レ亦人情ノ免レサル所ナレハ右等ノ所存
「ユチリテービユブリツク」ヲ出サシム既ニ存意書集マレハ州知事ヨリ命セラレ
シ四人ノ「ユチリテービユブリツク」州會議員ト建築師邑
長相會議ス副知事之レカ統領トナリテ其議ノ可否ヲ
決定ス「ユチリテービユブリツク」ノ布告ノ後ト雖モ尚
ホ恣意ヲ人民ニ加フル此ノ如シ其存意中至當ノ議ア
リテ「ユチリテービユブリツク」同意シ道筋等ヲ交換スル等ノ事ア

レハ又更ニ最初ノ手數ヲ盡シ評議セシ後ヲ知事ヨリ
一ノ決定書ヲ作り政府ニ於テ云々ノ公議ニヨリ道路
ノ方向變換シ更ニ彼ヨリ此ニ至ルノ地面ヲ買入ル、
ノ趣ヲ記載シテ公告ス

凡ソ議定テ人民ニ達スルニハ公工事務省ヨリ之ヲ直
ニ達セズ其州ノ民事裁判所ヲ經テ達スヘシ民事裁判
所尚小其始末ヲ詳密取調ヘ相違ナケレハ各地主ヲ招
ヒテ地面ヲ賣渡スヘト旨ヲ懇々告諭ス

此事務ヲ民事裁判所ニ托スル所以ハ第一嫌疑ヲ避
ル為ナリ其故ハ從來地面國用トナル事アレハ州知
事一見シテ倉卒ニ決定シ買入シ愚弊アリシ故ナリ
民事裁判所ハ恒ニ人民保護ヲ主務トシ時アリテ人
民ノ為ニ政府ニ抗論スルコトアリ如是キ故ニ人民恒

ニ我方ノ人ノ如ク思フ故ニ其説論ニ背ク者ハ稀
ナリ

裁判所ノ告諭終レハ州知事其趣ヲ邑長ノ役所ニ達シ
州中ニ粘壁布告シ邑長管下ノ地主ニ裁判所ヨリ布達
セシ書付ノ寫シヲ示ス此ノ如クスル後ハ其地ハ既ニ
地主ノ有ニアラス最モ工事ヲ起サ、ル以前ハ邸宅ノ
代價ヲ拂ヒ與フヘシ

革命已前ハ地面ヲ買入レ其代價ヲ拂ハスシテ其工
事ヲ始メ歲月ヲ經テ終ニ拂ハサル者アリ故ニ革命
已來大ニ嚴重ノ法律ヲ設ケ代料ヲ拂ハスシテ工事
ヲ起スヲ嚴禁トス

邸宅ノ代價ヲ定ムル甚ク難シ從前ハ之ヲ州廳ニ於
テ之ヲ定メ拂ヒシカ人民免角之ヲ欲ヒサル者多シ

致ニ民事ヲ民事裁判所ニ任セリ然ルニ人民ノ為ニ
幸ナレハ政府ノ損亡トナルヲ甚ク多シ互ニ過不
及イリテ平均至當ヲ得ス故ニ即今ハ之ヲ「ジユリー
ニ任シテ共代償ヲ定メシム

民事裁判所ノ告諭終リテ副知事ノ布達アリシ後ハ直
ニ邸宅ノ代償ヲ地主ニ拂フヘシ其前ニ造築師ヲシテ
邸宅ノ代償ヲ概算セシムヘシ然ルニ拂フニ及ンテ地
主之ヲ不足ト思フハ其意ヲ民事裁判所ニ訴ヘシ民
事裁判所若シ之ニ同意シテ政府ノ概算ヲ不審トスル
ハ「ジユリー」ニ出シテ之ヲ議セシム

「ジユリー」ハ郡ニ於テ邸宅ヲ所持スル者ノ中ヨリ撰
ス一郡ニ於テ「ジユリー」トナスヘキ人物三十六名ヲ撰
擇シ其名簿ヲ民事裁判所ニ備ヘ置キ前ノ如キ事件ア

ル片ハ民事裁判所ノ長官之ヲ閱シ其簿中ヨリ十六名
ヲ撰出スヘシ事ヲ議スルノ日ハ前日副知事ヨリ何月
何日ニ某ノ事件ヲ議スル由ヲ告ケテ右ノ十六名ヲ會
合シ民事裁判所ノ官員一名出席シテ會長トナルヘシ
「ジユリー」ハ十二名ヲ以テ定員トス故ニ會議ニ臨ミ或
ハ政府ノ概算ヲ可トシ地主ノ定見ヲ不可トスル者ア
リ或ハ政府ノ定見ヲ不可トシ地主ノ概算ヲ可トスル
者アレハ雙方兩人ツ、引去ラシム 若シ此ノ如キ及對
ノ論ナキハ閣ヲ
引去ラシム餘ノ十二名ニ於テ此議ヲ所決ス諭ハ政府
ノ概算百「フラン」ク地主ノ概算三百「フラン」クナレハ大
概其中間ヲ取り百五十「フラン」ト議定ス

「ジユリー」ハ政府ノ概算ヨリ減少ノ定見ヲナス能ハス
及地主ノ概算ヨリ超過スルモ許サス唯政府ノ地主ト

ノ定免ノ額内ニ於テ償直ノ高下ヲ定ムルノ権利ヲ有
セリ

蒙ニヨリテハ政府ヨリ借宅人ニ金ヲ與フルヲアリ又
地面ニヨリテハ「フェルミエー」借宅人ニ金ヲ與フル

テリ如何トナレハ借宅人ハ俄ニ家ヲ失ヒ又「フェルミ
エー」ハ年限未タ終ラサルニ地ヲ取ラレ皆テ活計ノ道

ヲ失ノ「フェルミエー」故ナリ之レノミナラス祖先以來連續住
居シテ老幼共ニ馴染シ土地或ハ商人等土地ノ景況ニ

ヨリ大ニ商業繁昌セシモ俄ニ轉居スレハ衰微ニ至ル
セヨルヘシ故ニ是等ハ辱ク仁恕ヲ加ヘ代償ノ外ニ相

應ノ金ヲ與フヘシ
シユリ「其代償」ヲ審調シ詢ハ政府ノ概算百フランク
地主ノ概算三百フランクニシテ地主ノ概算至當ニシ

シ

テ政府ノ概算不當ナル中ハ三百フランクヲ拂ハシム
ルノミナラス代償ノ外ニ諸費ヲ

政府ヨリ出サシム又政府ノ概算適當ニシテ地主ノ概
算貧欲ナレハ政府概算スル所ノ百フランクヲ與ヘ且

ツ諸費ヲ^{粘壁公布}地主ヨリ拂ハシム若シ双方共ニ定
見適當セサレハ其中間ヲ取り之ヲ定ム然ル中ハ諸費

モ亦同シク雙方ヨリ出サシム「シユリ」議定セシ上州
知事ヨリ議定ノ趣意ヲ公布ス然ル後テ地主尚ホ不滿

是ニテ速ニ其代金ヲ受取サル者アリ然ル中ハ法律上
ニ於テ地主ニ金ヲ拂ハサル前ニ工事ヲ起ス能ハサル

カ以テ其代金ヲ「テポ」エコンジガツシヨシノ筐中ニ
設置シ

此筐中ニ投票セル者ハ何時ニテモ地主ノ已ニ
此筐中ニ代金ヲ入ルレハ既ニ地主ニ拂ヒ度ヒシ者ト

大
現
地

見做シ何端工事ヲ始ムルモ妨ケナシ

公玉ヲ起ス為メ一ノ地主ヲ轉スルニ第一造築師ニ
命シ草案ヲ立シムルヨリユナリテ一ビユプリツク
ニ至ルマテ許多ノ手段ヲ盡シ第二圖面ヲ示シテ衆
議ヲ集メ第三邸宅ノ代金ヲ拂フニモ種々ノ手段ニ
涉リ遂ニ「ジュリ」ノ決ヲ以テ定ムル等其煩苛思フ
ハレ是レヲ以テ政府ノ威權ヲ以テ人民ヲ脅壓セサ
ル知ルヘシ

道路ノ景況ニヨリ地主ノ半地入用トナルヲアリ然レ
比半地ヲ除カハ地主大ニ困却スル者アレハ止ヲ得ス
政府ニ於テ全地ヲ買取ルヘシ最モ地主ニ於テモ之ヲ
買シムルノ理アリ或ハ地主ノ地面ノ一部分ヲ買取リ
シ後テ不用トナルヲアリ論ハ道ヲ開クニ其幅ヲ始メ

ニ八間ト見定シモ工事ヲ創ムルニ至リテ六間ニテ足
ルヲアレハ則チ二間ノ地ヲ餘スカ如キヲアリ然ルキ
ハ地主相應ノ代價ヲ收テ買ヒ返スヲ得ヘシ
工事ヲ起ス道傍ニ土木等退置ク場所ナキハ假リニ
其傍ラノ地主ノ地面ヲ借リテ積置キ或ハ地主所持ノ
地ニ石材等アリテ其石材ヲ公工ニ用ユル時ノ規則ア
リ最初請負ノ約束書ニ所用ノ材質ヲ記載セル中ニ石
ハ何石ヲ用ユト記シアレハ其石ヲ用ヒサルヲ得スト
雖モ或ハ其石場石材乏クシテ用ユルニ足サルヲアリ
テ地主ノ地面ニ石材アルヲ見出セハ其石材ヲ採リテ
用ニ供センヲ請フヲアリ然ルキハ州知事造築師ヲ
シテ實見セシメ故障ナケレハ之ヲ許スヘシ右ノ二事
ヲ行カニハ代金ヲ先拂ニスルヲナシ卒工ノ後ヲ算計

シテ相當ノ代金ヲ拂フヘシ何トナレハ日數何日ヲ費
シ石材何程ヲ用ユルト云フヲ豫算スル能ハサル故ナ
リ

假令石材アリト雖モ家屋園庭或ハ樹林等アレハ請
フコト得ス

地主ノ地面ヨリ石材ヲ取ルニ二條アリ

第一麥或ハ野菜等ノ耕作地面

第二既ニ採石場ト成タル地面

第一ハ耕作ヲ妨クル故ニ地ノ上面ノ代價ヲ拂ヒ土中
ノ品物ノ代ヲ拂フコトナシ然レモ樹木等アリテ切除ケ

ハ其水代ハ別ニ拂フヘシ

第二ハ地主既ニ入費ヲ掛ケ土中ノ品物ヲ鑿出シアレ
ハ其品物ニ應シテ拂フヘシ

法ヲ設クル正直ナリト雖モ種々ノ煩ヲ生スルコト多シ
政府ニ於テハ費用ノ減省ヲ主トシ地主ハ代金ノ多ク
貧リ雙方ノ趣意相及シ決定シ難シ故ニ政府ヨリ「コン
スエー」ドブレエノチ「エール」ヲシテ明詳監察セシム而
シテ地主ノ方ニ於テ化學ニ精シキ者ヲ撰ヒ政府ニ於
テモ同斷ノ人物ヲ擧ケテ評議セシム然ルニ政府ヨリ
出セシ者ハ必ス政府ヲ佐ケ地主ヨリ出セシ者ハ必ス
地主ヲ佐ケントス故ニ其論多クハ合ハス茲ニ於テ州
知事又此學ニ達シタル者一名ヲ擧テ之ヲ判決セシ
ム

道路管轄ヲナスニ便利ニヨリ路傍地主ノ地面ヲ借り
土砂水石等ヲ積置クニハ耕地ヲ妨クルアレハ相應ノ
代金ヲ拂フヘシ

政府ヨリ某ノ地ニ石材ヲラン^トヲ思ヒ土ヲ鑿リ木ヲ
伐リ或ハ土ヲ荒ス^トアレハ相應ノ代價ヲ其地主ニ拂
フハ無論ナリ

以上都テ地主ニ妨ケアル條件アレハ相應ノ代價ヲ
拂フハ言ヲ待タスト雖此此外ニ又代價ヲ拂フヘキ
事件アリ

今爰ニ一ノ鑛路ヲ開造スルニ土砂ヲ運送シテ堆積ス
ルカ為ニ自然丘阜ヲナシ其傍ラニアル邸宅之レカ為
メニ空氣ノ快通ヲ妨ケラレ或ハ日照リ患クナル^トア
リテ其邸主ヨリ歎願スレハ政府ニ於テ相應ノ金ヲ與
ヘサルヲ得ス又便宜ニヨリ市街ノ道ヲ高クスル^トア
リ路傍ノ大家之カ為ニ馬車ノ往來ヲ妨ケラレ豪客富
人ノ此家ヲ借ル者ナクナリテ詔計ヲ失フ^トキハ多少ノ

代金ヲ與ヘサルヲ得ス之ヲ^ドマージユト云フ損害ノ
義

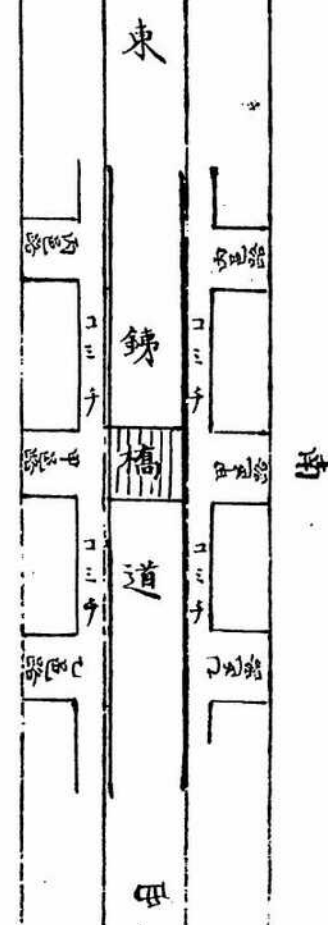
都外ノ驛々ニ旅舎アリ然レニ新タニ鑛路ヲ開ケハ往
來旅客ノ休泊スル者ナク其地ノ人民大ニ生計ヲ失フ
^トアリ佛蘭西ニ於テ往來往々此事歎訴ニ及ヒ大ニ^ユ
ンスエ^トエテ^トラ煩セシ^トアリ之ヲ^ドマージユジ
レ^トト云然レ^レ是等ヲ採用スレハ際限ナシ故ニ政
府之ヲ顧ミル^トナシ

又地ノ形勢ニヨリ鑛路ノ為ニ大ニ商賣ヲ妨ケラル、
者アリ論ハ一ノ旗店アリ従前二千^人ノ客來リシモ千
人ニ減シ大ニ生計ヲ失ヒテ歎訴スレハ^コミツシヨ^ン
ヲ立テ熟評ノ後^テ金ヲ與フル^トアリ
又閑靜ナル地ニ鑛路ヲ開キ其近傍ノ家俄ニ蒸響輪声

ノ為ニ夜間安眠ヲ妨ケ健康ヲ害スル由ヲ言ヒ歎訴セ
 シテアリテ評議ニ及ヒシテアリ然ルニ是等ノ事ハ代
 價等ノ定リモナク且ツ際限モナシ故ニ採用セスト云
 此他鑄路ヲ開クニハ種々ノ苦情ヲ訴ル者多シ然レモ
 盡ク之ヲ採用スレハ財用足ラス鑄路ヲ開ク能ハサル
 ニ至ル故ニ大抵ハ政府ニ於テ顧ルナシ

佛蘭西ニ於テ鑄路ヲ開キ始メシハ物議駭然殊ニ田
 舎ノ人民怨嗟ノ聲絶ヘス然ルニ年月ヲ経ルニ從ヒ退
 々其運輸ノ便利ヲ知リ就中田舎ニ産スル物品ノ價ヒ
 昔日ニ十倍スルヲ以テノ故ニ今日ニ至リテハ一人ト
 シテ鑄路ノ便利ヲ悦サル者ナシ又假令東西ニ向ヒ鑄
 路ヲ開クニ南北ニ通スル邑路ヲレハ之ヲ塞カサルヲ
 得ス然ルニ南北ノ人民ノ便利ヲ妨クヘカラサルニヨ

リ石或ハ煉化石ヲ以テ橋ヲ架シ其上ニ鑄線ヲ敷キ橋
 下ヲ邑ノ往來トス然レモ南北ノ邑路多クレハ每路橋
 ヲ架スレハ冗費ニ堪ヘサルヲ以テ一路ノ橋ヲ架シ其
 他ヲ塞クヘシ譬ハ圓ノ如ク甲乙丙ノ三邑路アルハ甲
 ノ一路ニノミ橋ヲ架シ乙丙ノ二路ハ壅塞シ兩側トモ
 路傍ニ小徑ヲ通シ甲ノ邑路ニ出テ往來セシム



然ルキハ僅ニ一塊土ノ隔ニシテ數百歩ノ迂路ヲナス
 ニ至リ歲月ヲ積メハ數里ヲ歩シ數日ヲ費スニ當リ且

人馬ノ勞往來ノ不便等種々ノ苦情ヲ訴ル者アリト雖
凡是等モ政府ニ於テドマージエジレクトルト見做テ
顧ミス

或ハ又東西ノ鐵路アリ直ニ鐵路ヲ横キリ南北ニ往來
セシムル者アリ即チ鑄路ノ兩側ニ鑄塙ヲ繞ラシ鑄扉
ヲ設ケ側ニ番卒ヲ置キ之ヲ守ラシメ濼車ノ往來スル
所ハ鑄扉ヲ鎖シテ往來ヲ留メ濼車ノ通行セサル間ハ
鑄扉ヲ披キ往來セシムルアリ此法ハ稍簡便ナルカ如
シト雖此之カ為ニ一人ノ番卒ヲ置キノ冗費ヲ厭フテ
每路此ノ如クスル能ハス

公工ハ一般ノ利益ノ為ニ起ス所ニシテ政府ノ失費
タル言ヲ待タス然ルニ其公工創營ノ為ニ格別ノ利
益ヲ蒙ル者アレハ政府之ニ命シ出金セシメ公費ヲ

補ナシムルアリ

譬ハ道路狹隘ニシテ車馬ノ往來不便利ナシテ以テ之
ヲ廢ムルカ為ニ一帯ノ人家ヲ取除クアリ然ル所ハ
自ラ人馬ノ往來繁ク瓦斯燈ノ設ケ増加シテ其市街自
然繁昌ス故ニ其兩側ノ人家利益ヲ蒙ル少カラス然ル
ニ其取除カシムル家ヲ政府ヨリ買入ル為ニ兩側ノ家
々ニ其意ヲ告諭シ諭ハ一町内ノ間一万フランクノ家
代ナレハ其三分ノ一ツ三千フランクヲ兩側ノ人民ヨ
リ出サシムル側毎ニ千五百

公工ハ元來其一町内ノ為ニ起スニ非サレハ政府ニ
於テ一錢ト雖此強テ之ヲ收ムルノ理素ヨリアルヘ
カラス然ルニ其町内元來殷富ニシテ又夕之レカ為
ニ一層ノ射利アレハ出金セシムル格段ノ法アリ決

シテ一般ノ規則トナスヘカラス
今其例ヲ舉ニ往昔「セ」河ノ堤防ナリ両側ノ地
一面ニ沿澤ノ如クナリテ地主ノ地面無用ニ属スル
夥シヨツテ造築師相議シ川ノ両側ニ土堤ヲ築キシ
カハ両側ノ地面水乾キ良好ノ牧野トナレリ其利益
ヲ算計セシニ二千百万フランクノ多キニ上レリ故ニ
米無用ニ属セシ地面如斯キ有益ノ地トナリシ故ニ
両側ノ地主ヨリ三百万フランクヲ政府ニ救メタリ
政府ニ於テ此ノ如キ堤防ヲ築キシヲ以テ始テ不用
ノ地変シテ有用ノ地トナレリ故ニ新ニ見出セシ地
面ト一般ノ理ナルヲ以テ之ヲ地主ニ賣ラントセリ
然ルニ法律上ニ於テ用不用ニ拘ラス地主ノ所有ノ
地ヲ其地主ニ賣ルノ理ナケレハ遂ニ行ハレスヨツ

ヲコンスエーエデター等緩回トナリ議論ニ涉リ漸
ク此處分ニ決定セリト云

凡ソ道路橋梁堤防等公工ノ管轄アレハ造築師ノ其土
地ニ在勤セル者縣等ヲ立テ草案ヲ作り州知事ニ出ス
州知事之ヲ議定シテ後テ工事ヲ始ム然レモ五千フラン
ク以上ノ金額ニ及ハ、公工事務省ニ告ケ執政ノ許
可ヲ受ヘシ

以上全國一般ノ公工ヲ説ケリ以下一州中ノ公工ヲ
畧説ス

一州中ニ於テ公工ヲ起スニハ請負人ヲ命シ或ハ土地
ヲ買上ル等百般ノ規則凡テ前ニ説シト畧異ナラス然
ルニ同シク公工ニシテ其費ヲ會計省ヨリ出スアリ州
中ヨリ集ムルアリ州中ヨリ集ム所ノ費ハ既ニ公工ヲ

卒リ尚ホ其金ヲ餘ス中ハ州中ニ野置キ牧野或ハ山林
ヲ買ニ用フ若シ又不足ナル時ハ借リ入ルヘシ國ノ公
工ヲ起スニハ議院之ヲ議定ス州ノ公工ハ「コンスエー
上ゼ子ロ」州會議之ヲ決議シ「知シ」議院執政團長ニ
聞スル「ナシ」然レモ地主ヲ取除ク等ノ事件ハ執政ノ
允許ヲ受サレハ行フ能ハス大抵ノ小徑等ノ公工ニハ
地主ト熟談シテ行フ「多シ」

州中ニ於テ「コンスエー」上ゼ子ロ「此ノ權ヲ握リシ
ハ七年以還」ナリ其前ハ州知事此ノ權ヲ有セリ
州ノ公工ハ必スシモ在留ノ造築師ニ依頼セス造築師
ハ恒ニ高價ニ見積ル「多シ」論ヘハ中材ヲ用ヒテ可ナ
ルモ上材ヲ用ユル等アリ國ノ金ナレハ自己ノ物ノ如
ク細ニ節約ヲ用ユル事ナシ故ニ他ニ任スル者多シ

邑ノ公工

邑ノ公工ハ大抵州ト同シ然レニ邑中ノ為ニ道路ヲ造
ルニハ邑費ヲ以テスヘシ邑ノ「サンチー」ム「アガシ」ヨ子
「ルハ」コンスエー「エゼ子ロ」其額ヲ議定シ而シテ「コ
ンスエー」エミニシユ「バル」邑會「サンチー」ム「アジシ」ヨ子
「ル」ノ法ヲ以テ村落ノ貧富ニ從ヒ適宜ニ之ヲ取立ル
ナリ

凡ソ一州中或ハ一邑等ノ公工ヲ起スニ「サンチー」ム
「アガシ」ヨ子「ル」ノ金額ニテ不足スル中「アクトロ」ハノ
税ヲ徵セン「ナラ」政府ニ乞ヒ政府命令ヲ下シ年限ヲ
期シ之ヲ許ス其税則ハ政府ニ於テ議定シ都鄙ノ貧
富ニヨリテ差等アリ

「アクトロ」ハノ願フニハ邑會議任當シテ其願書ヲ内國

事務執政ニ出ス執政之ヲ領掌スレハ「コンスエーエテ
ク」ノ内閣事務課ニ回達ス同課ニ於テ之ヲ調ヘ同意
ムレハハ税額ヲ執政ニ問フ執政之ヲ邑會議ニ下シ議
ニシム邑會議税額ヲ定メ再ヒ執政ニ出ス執政之ヲ會
議課ノ「コンスエーエテ」ニ出シテ始テ其税額ヲ定
メ國長之ヲ命令ス之ヲ「ローグ」マンピユブリツクト
云
葬地ヲ贖フニ年限アリ人ノ貧富ニ應シ或ハ五年或ハ
十年五十年百年ト定メテ買フ者アリ此地ハ皆ナ邑ニ
属スル故ニ其地價ハ邑ニ納ム其外犬ノ税アリ一歳五
フランクナリ但シ牧場ノ護犬ト認愛ノ家犬ト差別アリ
論ハ牧人ノ犬ハ一歳五フランクナレハ家犬ハ十フ
ランクナリ邑中家犬ノ多シト邑ノ貧富トニヨリ定ム

ル故其税額一定ナラス又家犬ノ子ヲ産スル片ハ直ニ
届出ヘシ若シ届ケ出サレハ三倍ノ出税ヲ命ス
此外ニ税ヲ取ル日アリ「アクト」ド「デタ」シ「ビール」生死
婚ヲ届出ルトキ邑長之ヲ一ノ簿冊ニ記シ置クナリ生
死婚ノ年月ヲ考見セント欲セハ邑長ニ請テ書寫スヘ
シ其時証印税ヲ收ム是皆邑ノ蓄財トス
生死婚証書ハ時々考見スル「ア」リ公事訴訟等起リ生
死婚ノ年月ヲ紀ス「ア」ル片ハ必ス生死婚証書ニ非サ
レハ証トスルニ足ラス其寫ヲ乞フニハニフランクニ
十五サン「ア」ムヲ收ム其内一フランク半ヲ政府ニ收
メ餘ノ七十サン「ア」ムヲ邑ノ積金トス
此証書ノ入用ノ一二ヲ拳ニ男女子共ニ學校ノ検査
ヲ受レ片或ハ家督相續是等ヲ証スルニハ何レモ生

本
政
官

灰燼証書ニ著サレハ政府ニ於テ採用セス
邑ノ公土ハ邑會議投票シテ州知事ニ出シ州知事之ヲ
決定ス
邑ノ公土ハ大抵造築師ヲ煩サス邑長之ヲ監督シ或ハ
指揮ス
公土ノ中ニ國或ハ州或ハ邑ニ關係セサル者アリ即チ
デীগアツシヤツシヨンサンジカールニ於テ行フ公工
ナリアソシヤツシヨンサンジカールハ僅ニ二三ノ地
主思ヒ立チ如何程奮發スルモ衆地主一致同心セサレ
ハ行ハルヘカラス爰ニ一ノ法則アリ他ナシ唯々一致
セシムルノミ一致シテ後チ政府ニ請ヒ免許ヲ受始メ
テ衆地主集會シ反復熟議シ其議ノ趣ヲ粘壁或ハ新聞
紙ニ著シ之ヲ布告ス

アソシヤツシヨンサンジカールヲ起サントスルニハ
各地主集會シ其中ヨリ五名或ハ六名ノ「コミツシヨ
ン」特撰員ヲ擧ケ各地主ノ代人トシ凡テ是ノ事務ヲ擔當
盡カセシム其中ヨリ又一名ヲ抽テ「ジレクトール」ヲ命
ス「ジレクトール」ノ職ハ請負人ヲ監撰シ會計ヲ任當ス
工事落成ノ上ハ失費ヲ合算シ衆地主其地ノ廣狹ニ割
付シテ之ヲ拂ハシム
アソシヤツシヨンサンジカールヲ起スニ一人異議ノ
者アリ譬ハ灌水術脱水術「ゴルマター」等ノ工事ノ
如キ地ヲ良好ニスル目的ヨリ發リタル議ハ假令依然
トシテ存置クモ人民ノ妨害ヲナスニ至ラス故ニ衆地
主一致セサレハ政府ニ於テ敢テ之ヲ強ユヘカラスト
雖モ沿澤溝河等ノ難害ヲ防ク為ニ起リタル「アソシヤ

ツシヨシサシシカールハ一二名不同意ノ者アル片ハ
政府之ヲ傍觀セスシテ之ヲ一致セシム
爰ニ一ノ大ナル地主アリ此ノ工事ヲ起セハ大ニ利益
ヲラント見ル片ハ其草案ヲ作り州知事ニ出ス州知事
之ヲ受テ邑長ニ下シ其工事ニ関係スル衆地主ヲ集會
シ其草案ノ趣意ヲ懇諭シ其日ヨリ廿日ノ間ニ其利害
得失ヲ言ハシム
州知事其事ニ精練ナル人ヲ撰ミ精詳評議セシメ其利
害得失ヲ審察シ後ニ各地主ヲ集會セシメテ所存ヲ言
ハシム論ハ十人ノ地主アリテ六人ハ同意シ其中ニ加
入センヲ欲シ四人ハ不同意ニシテ之ヲ欲セザレハ
州知事決定書ヲ出シテ工事ヲ起スヲ確定ス最モ衆
議ナレハ不同意ノ四人モ従ハサルヲ得スト雖モ尚ホ

強テ之ヲ脱セントスル者アレハ亦夕其意ヲ遂シムル
ノ方法アリ他ナシ其全地ヲ弁シムルノミ衆地主一ツ
モ異議ナク同心一致シテ此議ヲ起サハ政府ニ於テハ
唯一人ノ事業ト見做スヘシ若シ一人ニテモ異論アレ
ハ政府ニ願ヒ出サルヲ得ス己ニ政府ニ願ヒ出レハ即
チ公工タリ故ニ其規則等ヲ始メ万事他ノ鑛路橋梁ノ
類ト同般ニ行フヘシ
茲ニ一ノ乾燥地アリテ灌水術ヲ行ハントスルニ他人
ノ地面ヲ隔テ河水アル場処ナレハ其仔細ヲ政府ニ願
ヘハ政府ヨリ其水道ヲナスヘキ地面ヲ買取り其願意
ヲ遂シム
アソシヤツシヨシ道路ヲ開クニ其地形ニヨリ地主ヲ
取除ケサルヲ得サルヲアレハ州知事ニ願出ヘシ州知

事之ヲ決然シ後チ民事裁判所ヲシテ取除ケノ命令ヲ
下サシム

會社ト請負人ト爭論スルコトハ「コンスエード」プレフ

クチ「ムール」州ノ扱議所ニ出訴ス州協議所ハ政府ニ

備シタル者ニシテ裁判所ニ比スレハ簡易ニシテ甚々

嚴格ナラス且ツ時日ヲ費ス少シ故ニ之ヲ便トス

未功落成スレハ代人一ノ表題ヲ作りテ幾人ノ地主商

議シテ企テシ由ヲ記シ之ヲ州知事ニ出ス州知事之ヲ

閱シテ「ペルス」エツト「ル」徵稅吏ニ達ス「バルス」エツト

在ル徵稅吏ナリ村中徵稅吏乃チ誰某ハ何日誰某ハ何

日ニ拂フヘシト其日限ヲ定ム其日限遷延スル者アレ

ハ罰金ヲ出サシム

治澤ノ如キ人身健康ノ妨害ヲナスモノアリテ速ニ埋

メントスル中ハ政府「ア」ノシマツシヨシカール

ヲ成サシメントスルニ衆地主之ヲ欲セサル中ハ政府

ニ於テ断然土功ヲ起シ落成ノ後各地主所有地ノ廣積

ニ割付シ其入費ヲ償ハシム

ウヲウハリ「道路ニ關係シタル」
集マリノ規則

ウヲウハリ「大小ノ別アリ大ナルウヲウハリハ

全國ノ大道鑄路各州及「巴黎」府ノ官道ヲ云フ小ナル

ウヲウハリ「ハ郡邑等ニテ造ル道路ヲ云大ナルハ國

長ノ決定ヲ以テ之ヲ起シ小ナルハ大抵州知事ノ決定

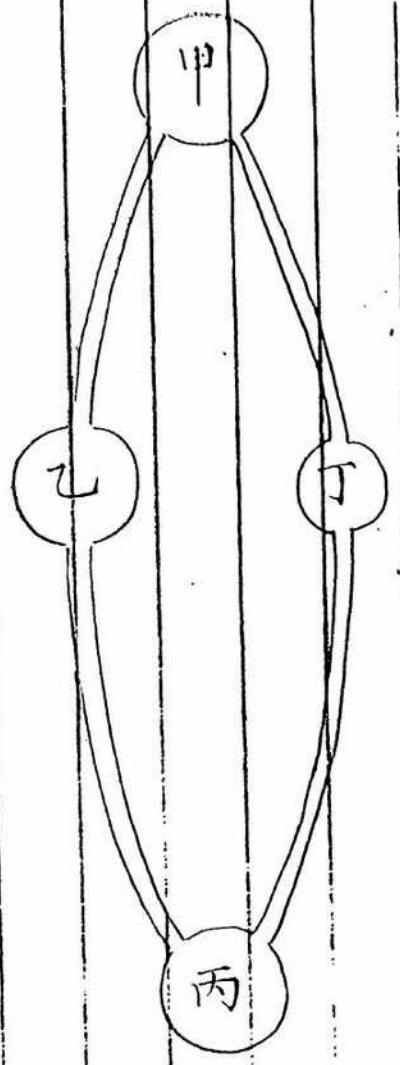
ヲ以テ之ヲ作ル大道ハ即チ「巴黎」新ヨリ「伊太利」ニ達シ

茲ハ「巴黎」新ヨリ「馬塞里」ニ至ル等ノ大道是ナリ此等ノ

大道ヲ作ルニハ必ス議院ノ公議ヲ經ユナリテ「ビユ

フリック」ノ公布アリテ後チ工事ヲ起スヘシ

今茲ニ如圖甲乙丙ノ大市アリ一ノ大道之ヲ串通シ



又一方ニ丁ノ貧邑アリ僅ニ一小徑ヲ通ス然ルニ時勢ノ景況ニヨリ乙ノ市衆微シ丁ノ貧邑大ニ繁栄シ人民ノ往來品物ノ運輸繁多ニナリテ自然大道ヲ造換スルヲアリ是等ハ國長ノ決定ヲ以テ之ヲ造換スヘシ然ルハ舊路ノ地ハ政府ノ所有ニ屬スヘシ大道ハ國民一般ノ所有物ニシテ政府ニ屬スル者ニアラス然レモ之ニ代ルニ新道ヲ造リテ國長ヨリ之

ヲ更換スルノ命アレハ新道ハ國民一般ノ所有物トナリテ舊道ハ政府ノ所有ニ屬スヘシ新ニ大道ヲ開キシ時道ノ兩傍ニ建營ヲナス者各所ニ散居シ整列セサレハ妨得多シ故ニ兩傍直線ニ連營スヘキ由ヲ命ス

今茲ニ新道ヲ開キ其兩側ニ家ヲ建ル者アレハ其場所方角ヲ指テ州知事ニ出願ス州知事之ヲ造築師ニ下シ商議セシム造築師公工事務省ニ於テ州知事之ヲノ圖面ニ據リテ之ヲ議定セシム而後州知事之ヲ許可ス

道傍ノ建築ヲ起スニ政府ノ許可ヲ得セシムルハ二ノ目的アリ一ハ連營シテ散居セシメサル為ニ一ハ兩側ヨリ新ニ建營シ道路ヲ狭ムル等ノ害ヲ防ク為

ナリ

道傍ノ家宅ヲ修繕スルニハ必ス州知事ノ許可ヲ受
ヘシ修繕ノ權ヲ州知事ニ與フル所以ハ詢ハ幅五間
ノ道アリ殺隘ニシテ不便ナリ故ニ漸ク以テ七間ニ
廣メントスルノ暗算アルキハ修繕ヲ願出スル者ア
リト雖比妄ニ許サス自然ニ家ノ破損スルヲ待テ除
去シ道路ヲ廣メントスルニ害ナキ處ニ新營セシム
ル類ナリ然ルニ此法ハ大抵僻陬寒邑等ニ行フナリ
巴理府下ノ如キ繁華ノ地ハ此法ヲ用ユルヲナク既
ニ前ニ記セシ手數ヲ經テ其家邸ヲ買上ルナリ道路
ヲ廣ムル為ニ轉居ヲ命シ其地所ヲ國ニ買ヒ入ルハ
ハジユリヨリ之ヲ地主ニ命ス以上道ヲ廣ムルノ
法ヲ説ケリ以下道ヲ狹ムルノ法ヲ記ス詢ハ幅七間

ノ道ヲ五間ニ狹メントスルニハ兩傍ヨリ一間ツハ
餘地ヲ生ス其餘地ハ其邸掛リノ者ニ買シムヘシ若
シ買フヲ欲セサル者アレハ其全地ヲ政府ニテ買
上ケ其邸主ヲ轉居セシム然レハ大抵之ヲ買サル者
ハ鮮ナシ
路傍ノ邸地道端ヨリ六メートルノ間ニ樹木ヲ植ル
ニハ必ス州知事ニ願ヒ許可ヲ受クヘシ
道路ノ傍ニ箒溜ノ穴ヲ鑿リテ塵芥穴ニ滿レハ政府之
ヲ近傍ノ田畑ニ弃去ス畑主之ヲ厭フヘキ道理ナレハ
然ラス塵芥ハ多ク肥糞トナル故ニ却テ悦ブ者多シ
家屋高地ニアリ道路卑下ニアレハ雨水注流シテ荒類
シ易シ故ニ濼ヲ通シ水泄ヲ設クヘシ之ニ反シ道路高
クシテ家宅卑地ニアレハ恒ニ水難ヲ受ク故ニ溝ヲ鑿

リ水泄ヲ能スヘシ是政府ノ任スヘキ分ナリ
道凸形ナレハ雨水兩側ニ注入シ路傍ノ家邸ヲ妨害ス
故ニ各所ニ穴ヲ掘リ下水道ニ注決スヘシ
製造所ヨリ流ス所ノ水ハ政府ニ於テ関スルヲナシ
製造所ヨリ政府ニ願ヒ穴ヲ鑿チ下水道ニ注入セシ
ム此ノ如キ中ハ既ニ前ニ説シ如ク工事中假ニ水石
ヲ片付ケ置ク為ニ道傍ノ地面ヲ其地主ニ借用スル
ヲ得ヘシ
道ヲ造ルニ「レ」グルマンアドミニストラツシヨシ
ト云フ規則アリ若シ此規則ニ背キ道路ノ妨害ヲナ
ス者アレハ造築師導吏邑長選卒等恒ニ監督シ撮摘
書ヲ以テ州協議所ニ告ケ之ヲ罰シ或ハ罰金ヲ出サ
シム

以上一般ハ大道ニ関スル事件ヲ挙ケ以下州中道路
ノ事ヲ述フ
一州ノ首府ニ行クニ一ノ邑ヨリ行ク路アリ又々他
州ヨリ行ク道アリ此兩道ヲ造ル規則左ノ如シ
一州中ニ於テ一ノ場所ヨリ他ノ場所ニ道ヲ造ルニハ
州會議ノ許可ヲ得及ヒ同シ官員ノ監護ヲ受テ造營ス
ヘシ
一ノ州ヨリ他ノ州ニ連スル道ヲ造ルニハ双方ノ州會
議互ニ一致セサレハ造ル能ハス一方ノ州會議此道ヲ
造ルヲ欲スルモ一方ノ州會議ニ於テ承諾セサレハ
工事ヲ起スヘカラス然レモ一方ノ州會議兩州人民便
益ノ為メニ強テ開造セントスル片ハ議院ニ出シテ公
議ヲ受ヘシ議院若シ之ヲ許サハ他ノ州會議如何ナル

異論アルモ之ヲ拒ム能ハス
道路落成ノ上諸規則及ヒ道傍ノ建築塵穴水泄等ノ設
ケ都テ前章ノ如クナルヘシ

鑄道

佛蘭西ニ於テ呂物ヲ國ニ運送スル目的ニ早ク鑄路ノ
設アリタリ然レモ旅客ヲ兼送スル為ニ開造セシハ漸
ク五十年以降ノ一ナリ始メ旅客運送ノ為ニ巴黎斯ヨ
リサンゼルマンニ巴黎斯ノニ開通セシヨリ人々便利ヲ
覺知シ漸々ニ廣マリ速ニ現今ハ全國中蛛網ノ如ク蔓
延スルニ至レリ
始メ鑄路ヲ起セシキハ巴黎斯ヨリサンゼルマンニ造
リシ如ク僅ニ三四里或ハ四五里ニ過スシテ其會社モ
亦微々タル者ナリシカ千八百四十二年ノ法律ニ大ナ

巴黎斯ノ

ル鑄路ヲ起ス一ヲ布告セリ尔来巴黎斯ヨリリール白
耳義國境ニ通シ巴黎斯ヨリ西方ヲワールニ開キ巴
理斯ヨリツールニ達シツールヨリナントニ至リ又巴
理斯ヨリホルドールニ開キ巴黎斯ヨリ里昂馬塞里巴黎斯ヨリ
スタラスブールニ開通セリ

シヤエエー氏曰ク如此法律ヲ設ケ大ナル鑄路ヲ
開カシメシハ實ニ政府ノ深圖遠謀ト称スヘシ先
ツ此ノ大徑ヲ開キ置ケハ枝道ハ從テ開ケ造レル
道理ナルヲ洞察セシカ果シテ漸々支路延開シ僅
ニ三十年ナラスシテ現今ノ盛大ニ至レリ論ハ蜘蛛
ノ巣ヲ營ニ先ツ大絲ヲ八方ニ達シ後ニ細糸ヲ
纏繫スルト一般ノ道理ナリ鑄路ヲ開ク者最モ注
意スヘキ大要件ナリ

又曰ク佛蘭西全國ヲ人ノ全体ニ諭ルニ巴黎府ハ
頭腦精神ノ如ク諸州邑ハ猶ホ四肢全身ノ如シ鑄
路ノ全國ニ蔓延スルハ猶ホ心経ノ腦髓ヨリ派出
シ全身ニ達シ氣脉相通スルカ如シ

鑄路ハ直行ヲ尚ハス若シ山岳ニ逢ハ避ケ迂回スヘシ
然ルニ地ノ形勢ニヨリ止ヲ得サレハ最モ山ノ卑キ所
ヲ切抜ニシ是唯失費ヲ減スルノミナラス山ヲ避レハ
必ス村落ニ近ツク故ニ大ニ人民ノ便利トナルヘシ假
令山岳ナキ平坦ノ処ナリト雖モ必ス蛇曲シテ村落ニ
添ヒ開造スルヲ要スヘシ

佛蘭西ニ於テ鑄路今日ノ如キ盛ニ至ルハ政府格別
ニ誘掖奨励セシヲ以テナリ始メ鑄路ヲ開クニ當リテ
誰モ此ノ如キノ利益ヲ知ル者ナク皆ナ茫々目的ナク

シテ工事ヲ起セリ故ニ政府始メニ左ノ三ヶ条ヲ布令
シテ勸奨セリ

第一乗客乗場所上中下ノ賃錢ヲ定ム

第二鑄路ヲ起スニ資本不足ナレハ政府ヨリ貸與フ

ヘシ

第三利益ナク或ハ損亡スルヲアレハ政府ヨリ之ヲ

補足スヘシ

佛蘭西ニ於テ百フランクニ付五フランクノ利分ヲ
通常トス故ニ詢ハ巴黎斯ヨリ馬塞里ニ通スル所ノ
鑄路ハ入費十萬フランクト見テ一歳五千フランク
ノ利益アレハ通常ノ利分ナリ然ルニ若シ四千フラ
ンクナレハ千フランクヲ政府ヨリ補遺シ相當ノ利
益ヲ取ラシム此ノ如ク政府勸奨誘導セシ故ニ遂ニ

今日ノ盛大ニ至レリ

六條ノ鑛路既ニ成就セシ後ト雖モ政府尚ホ怠ラス誘
獎ノ術ヲ盡シ支路ヲ開カシメタリ便利有益ノ地ハ大
抵會社ヨリ開造スト雖モ不便薄利ノ処ハ會社開ク
ヲ欲セス故ニ政府百方盡カシ會社ノカラヲ以テ開カシ
メタリ此ノ如クシテ尚ホ會社ヨリ開カサルハ止ラ
得ス政府ノ手ヲ以テ之ヲ開ケリ上ニ説シ如ク百ニ五
分ノ利益ヲケレハ政府其不足ヲ補フト雖モ之ニ及シ
テ五分已上ノ贏利アレハ其景況ニ慙シ其利益ヲ政府
ト分割スヘシ

贏利金ノ政府ニ收マル者ハ貯ヘ置キ衰微セシ鑛路
ノ利分ノ不足ヲ補フニ充テ或ハ會社ノ欲セサル所
ノ鑛路ヲ政府ニテ起スヲアル時ノ為ニ供ス

鑛路會社金ヲ募ルニ二法アリ一ヲ「アクション」ト云一
ヲ「ブリガツション」ト云

アクションハ論ハ爰ニ鑛路ヲ開造スルニ十萬フラン
クノ金ヲ出シ置キ而シテ其得ル所ノ利益五千フラン
クナレハ尋常ノ利分トス然ルニ四萬フランクナレハ
一萬フランクノ損亡トナリ又六萬フランクニ上レハ
千フランクノ餘益ヲ得故ニ「アクション」ハ非常ノ大利
ヲ得又非常ノ大損トナルヲアリ

ブリガツション
ブリガツションハ「アクション」ト反對ニシテ大利モ
ナク又大損モナキ法ナリ今十萬フランクノ金ヲ出シ
テ鑛路ヲ起シ其得ル所ノ利分五千フランクナレハ通

常ナリ然ルニ若シ四千フランクナレハ其不足ノ千フ
ランクヲ政府ヨリ補ヒ與フ故ニ損亡スルヲナシ故ニ
又々六千フランクノ利益アル片ハ五千フランクノ利
ヲ收メ餘ノ一千フランクヲ政府ニ收ムヘシ
併道ヲ起スニアクション子ール アクションノ人ヲブ
リガトールヲブリカツシヨソ人ト相結ヒ双方ヨリ十
万フランクツ、出金シ開造スルアリ其所得利分八千
フランクアル片ハ双方配分スルニヲブリカトールノ
方ハ五千フランクヲ得アクションハ三千フランクヲ得
ヘシ或ハ其利益一万五千フランクナレハヲブリカツ
シヨソハ五千フランクヲ得アクションハ一万フラン
クヲ收ムヘシ
アクションニテ一ノ鑄路ヲ起ス其入費凡ソ十万弗ト

見テ一歳ノ利益三万弗ヲ得其鄰地ニヲブリカツシヨ
ソニテ造レル鑄路モ同ク十万弗ヲ費シ一歳ノ利益僅
ニ三千弗ナレハ政府アクションノ贏利三万弗ノ中ヨ
リ二千弗ヲ缺キヲブリカツシヨソノ不足ヲ補ヒ助ク
ヘシ此法ヲ施スニハ最初ニ約束アルヘシ
アクション子ールハ九十九年ノ期限ニ至リテ鑄路ヲ
政府ニ属スル時政府ヨリ買入レシ濠車ノ代金ハ會社
トアクション子ールト分配スヘシ
ヲブリカツシヨソハ此時ニ至レハ濠車ハ都テ會社ニ
属シ一錢ヲ分ツヲナシ
ヲブリカツシヨソハ爰ニ鑄道ヲ開クニ十万フランク
ト見テ二百人ノヲブリカトールナレハ二百フランク
ツ、出金スヘシ此ヲブリカトールハ百ニ五分ノ利ヲ

得ル當然ナリ然レモ即坐ニ五百フランクヲ出サスシ
テ三百フランクヲ出シ各番票ヲトリ毎年闌別ニスル
ナリ闌ニ當リシ人ハ直ニ五百フランクヲ受取り其社
中ヲ脱スヘシ左スレハ二百フランクノ利益アリ又来
年此ノ如クシテ一人脱シ其翌年モ同前年々此ノ如ク
シテ百年ニ至レハ遂ニ皆ナ脱去スヘシ

鑄路ヲ起スニハ工事ヲ命スヘキ人物數名ヲ集メ其中
ヨリ拔撰シ執政ニ告クヘシ
鑄路ノ大工事ヲ命スルニハ相應ノ資本ヲ有スル者
ニ非サレハ成就シ難シ故ニ財産ヲ調スルヲ要ス「バ
ンクド佛蘭西ノ主人ヲ人撰者ノ中ニ加入シテ財本
ヲ取調ヘシム何故ナレハ巴理府ニ於テ豪富ト称ス
ル者ハ大抵「バンクド佛蘭西ト結ハサル者ナケレハ

ナリ

鑄路ハ人民ノ便利ノ為ニ起ス公工ナレモ又政府ノ利
益トナル者ナリ如何トナレハ九十九年ノ後ハ政府ニ
屬スル故ナリ

コンスエーエノ議ヲ經テ公工ヲ命セラレシ者ハ請負
人ト同シク「ラポードコンシガツシヨシニ証金ヲ出ス
ヘシ
凡ソ公工ヲ命セントスルニハ先ツ各自ノ貯存ヲ言ハ
シム詢ハ一人ハ九十九年間鑄路ヲ預リ十萬弗ノ手當
金ニテ引受ント云一人ハ五十年間預リニシテ手當金
五萬弗ニテ引受ント云今一人ハ四十五年間預リニシ
テ手當金二萬弗ニテ引受ント云若アルキハ必ス年限
ノ短クシテ手當金ノ少キ者ニ命ス

大正
政
官

此法大抵請負人ト同シ唯鑛路落成ノ後預リ年限ヲ
最初ニ定ムルノミ僅ニ異レリ

其人既ニ定リシ後ハ命令ヲ以テユケリテ一ピエブリ
ツク 公利益ノ布告ヲナシ然ル後ニ工事ヲ始ムヘシ

大ナル公工ニ於テハ法律議院ニ於テ決定スルヲ法律ト云ニ於テ公
利益ノ布告ヲナシ小ナル公工ハ命令國長ノ名ニテ下スヲ命令ト

云ノ布告ヲナス

アンジエガツシヨシ從前行ハレ来リシカ現今ニ至リ
此法ヲ用ルル稀ナリ

現今ハ鑛路會社ノ大ナル者アリテ直ニ之ニ命ス然レ
唯政府ト會社トノ約束ヲナスノミ舊法ヲ存セリ

此所ヨリ彼所マテ鑛道ヲ達セハ便利ナラント思フ片
ハ或ハ鑛路會社ヨリ企事アリ或ハ政府ニ於テ思ヒ立

ツトアリ何レニモセヨ此企ヲナスニハ先ツ草案ヲ起

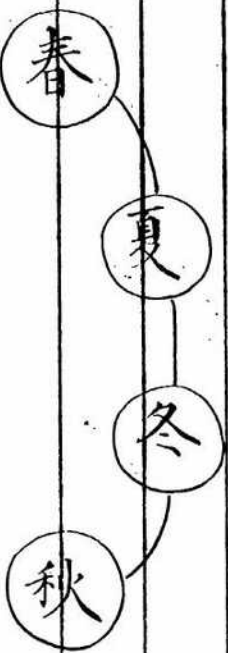
シ鑛路ヲ起スヘキ處ノ住民ノ存意ヲ聴キ次ニ在州ノ
道路橋梁師次ニ州會議員ノ道路橋梁掛リ次ニコミテ

一ユンジエルトタチ一フデセマントフェールニ評議セシ
メ次ニコンスエーエテタノ考案ヲ經テ後ヲ乗客ノ

賃錢ヲ規定シ始メテ命令或ハ法律ニ依テ公利益ノ布
告ヲナスヘシ

凡ソ工事ヲ起スニ種々ノ手段ヲ經ル此ノ如ク甚々煩
雜ナルカ如ト雖トモ一鑛路ヲ開ク實ニ容易ナラス今

一事ヲ舉テ之レヲ証スヘシ論ハ圖ノ如キ場所アリテ



大
政
官

春ト秋トハ土地繁昌随テ旅客物品ノ運送モ繁多ナレ
ハ銚路ノ利益洪大ナルヲ論ヲ待タス之ニ及シ夏冬ハ
寒邑貧市随テ乗客送品モ稀少ナレハ利益少シ故ニ銚
路會社ハ春秋ノ間直線ニ銚路ヲ通シ夏冬ヲ顧ミサル
ノ情アリ故ニ能ク夏冬ノ住民ノ所存ヲ問ヒ其情實ヲ
察シ夏冬ノ人民モ春秋ノ人民ト同シク便利ヲ得セシ
ムルハ政府ノ責任ナリ是レ則チ多少ノ手段ヲ盡シ煩
雜ニ渉ルヲ厭ハサル所以ナリ
佛蘭西ニ於テ銚路會社ノ大ナル者六ツアリ自然ニ全
國ヲ六ツニ區分シ所轄スル者ノ如シ故ニ支道ヲ通ス
ル大抵其土地ノ會社ヨリ造ルト雖モ時アリテ其會社
ノ造ルヲ欲セサル道アレハ政府ニ於テ之ヲ起シ或ハ
他ノ小會社ヨリ出願シテ之ヲ許スヲアリ即チ先年里

昂トテト此ノ間ニ十人支路ヲ開カヘキ由テ政府ヨリ
命セシニ里昂會社ハ大會社ノ一此道ヲ開クヲ欲セ
ス此時他ノ小會社アリテ此道ヲ開クニテ政府ニ乞
ヒ許可ヲ受ケテ開造ヒシヲアリ
銚路ノ約束ハ公工事務執政ト會社ト相結フナリ年限
ハ九十九年ヲ定規トス此年限ハ銚路會社起リシヨリ
今ニ至ルマテ交換スルヲナシ
九十九年ノ期満レハ銚路ハ政府ニ屬シ濠車ハ素ヨリ
會社ノ所有物ナレハ政府ニ於テ之ヲ買入ルヘシ
未タ九十九年ノ期至ラズシテ政府ニ取返スヘキ條理
ニツアリ
九十九年ノ期至リ政府ニ歸スル已前ニ銚路ノ修復ヲ
怠レハ政府ニ於テ其期末五年分ノ利益ヲ没入シ修理

ヲ加フ是レ共一ナリ今一ハ橋梁鑄路共ニ買上ルノ権
利ヲ恒ニ政府ニ有ス故ニ九十九年ニテ政府ニ返属ス
ルノ約束ナリト雖此半途ニシテ會社衰微シ修費等ヲ
得サレハ期年内ニシテ政府ニ買上ルヲアリ論ハ五十
年ニシテ買上ルヲアレハ残り四十九年ナリ然ル片ハ
已ニ過レ五十年ハ一ケ年ツ、ノ利益ヲ算計シ過不及
ヲ平均シ其割合ヲ以テ四十九年ニ割平シ毎年會社ニ
算選スヘシ

此條ハ鑄路創造以來佛蘭西ニ於テ未タ行ヒシナ
シ然レ此會社ト豫メ此約定ヲ結ビ置サレテ得ス
テシヤンス 没入

没入ニ三條アリ
第一ハ約束書ニ鑄路ノ工事ヲ起ス某月ニ創營スヘ

ト云フヲ記載シテ若シ其期限遷延スレハ則チ其
工事ヲ遏止シ且ツ、コシヨンスマン証金ヲ没入ス
第二ハ何月限リニ此工事落成スルノ約束ヲナシ延
期スレハ工事ヲ止メ証金ヲ没入ス

第三約束書ニ若シ鑄路損毀セシキハ幾日間ニ修理
ヲ加ヘ久シク往來ノ便利ヲ妨ケサル旨ノ記載シテ
若シ其期日ヲ過サハ直ニ工事ヲ止メ証金ヲ没入ス
以上ノ件々ハ政府ニ於テ好テ成スヘキ事ニ非ス
又會社ニ於テハ違約スヘキニ非ス然リト雖此約
束ヲ定メ置キ万一此事アレハ此処分ヲ施スノ權
利ヲ恒ニ政府ニ有セサルヘカラス

鑄路會社ト公工事執政トノ約束ノ條件甚タ多クシ
テ枚擧スヘカラス今二三ノ要条ヲ左ニ掲ク

第一鈔路ノ幅員ノ定ム

第二山ヲ鑿通スル幅員ノ定ム

山ヲ切通スニハ多分ノ失費アル故ニ會社ニ於テ可成ハ幅員ヲ狭ク切抜クテ好ム然ルハ瀛車ヲ損害シ人ヲ誤ルテ多シ故ニ政府ニ於テ其幅員ヲ定メ置ナリ

第三高丘ニ鉄線ヲ布ク甚々難シ之ヲ平直ニ鑿リ通スニハ失費支難シ故ニ平坦ヨリ最高ノ所マテ幾ノトルト行邁ノ度ヲ定ムヘシ

第四車驛ノ定約

會社ハ入費ヲ省クテ欲スル故ニ多ク車驛ヲ建ルテ好マス故ニ政府ニ於テ最初ニ何方ヨリ何所マテノ間ニ某地々々ニ都合幾ヶ所車驛ヲ設ク

ヘキノ約束ヲ定ムヘシ

第五鈔路ヲ開クニ横ニ貫通セル道アリ小路ニテ往來モ稀少ノ処ナレハ断然其路ヲ塞キ或ハ番卒ヲ置キ瀛車往來ノ間隙ニ人ヲ行通セシムヘシ然レモ往來繁キ道路ナレハ地形ニヨリ地下ヲ鑿通シ石或ハ磚瓦ヲ疊ミ又ハ橋梁ヲ架シ其上ヲ往來セシムヘシ第六鈔路兩側ノ土堤ニ生樹藩或ハ柵ヲ結フテ人或ハ牛馬其他動物等土塊ヲ踏落シ軌線ヲ埋メ車輪軌線ヲ外レ大破損スルテアリ故ニ會社ニ於テ之ヲ作スノ約束アルヘシ

此ノ如ク約束アリテモ尚ホ生樹藩枯朽シ或ハ柵木破損シ其間ヨリ牧獸駭出テ車輪ノ為ニ壓死スルテ往々アリ然ルハ牧畜主償金ヲ募リ會社肯

九
政
九
諸セサレハ裁判所ニ訴ルノ権アリ米堅ニ於テハ
此約束ナキニヨリ屢々此煩ヒアリト云

如此ク約束セシ件々ヲ會社ヨク遵守スルヤ否ヲ恒ニ
監督スルハ即チ公工事務省ヨリ諸方ニ配置スル所ノ
造築師及ヒ導吏ノ任ナリ若シ違約アルハ忽チ之ヲ
責問シ或ハ本省ニ報告ス

銚路已ニ落成ノ旨届ケ出レハ道路橋梁師ノ「コミツシ
ヨ」特撰員ヲシテ能ク實核セシメ始メノ約束ヲ遵守
セシヤ否ヲ熟視シ「コミツシヨ」相違ナキ由ヲ報告ス
ルヲ待テ執政會社ヲ召ヒ何月何日開業スヘキ旨ヲ達
シ始テ車ヲ運轉スルヲ得セシム

銚路ノ開造及ヒ修繕ハ前ニ説シ如ク道路ノ規則ト大
畧同般ナリ又銚路ノミニ関スル規則數ヶ条アリ今其

要件ノ二三ヲ擧ン

銚路新營シテ兩側ニ建築ヲ起ス常ノ道路ニ異ルナ
シト雖モ道端ヨリニメートルノ距離ヲ置テ營造ヒシ
ムニメートルノ内ニ造ル「ハ」州知事之ヲ禁制ス
銚路ヨリ一メートルノ外ニ牆壁ヲ築クヘシ銚路外ニ
十メートルヨリ内ニ穂積ヲ置ク「ハ」ヲ嚴禁ス濠車ノ火
點飛シ失火ニ及ヒシ「ハ」往々アリシ故ナリ
車驛ノ長吏或ハ濠車ノ長吏或ハ邑長等恒ニ注目監督
シ一モ約束ニ背ク「ハ」アレハ忽チ摘撮書ヲ作り州知事
ニ報告ス

州知事ノ憂分スヘキ事ナレハ此摘撮書ヲ州協議所
ニ出ス若シ否ヲサレハ「ハ」プロキエロ「ハ」ル 監審司ニ出
シ裁判所ニ送ル

鑄路取締ノ官吏各分権アリテ之ヲ確奉シ敢テ他ノ
職掌ヲ犯ス^トナシ若シ権外事ヲ行ヘハ功アルモ却
テ罰ヲ受ク先年フアンブロー^{地名ヨリ}巴黎斯ニ
遊スル鑄道中ニテ男女同室ニ乘込シ者アリ其体甚
々怪シガ^レドムラン^{鑄路先導吏}之ヲ不審ニ思ヒ少
島アツテ車扉ヲ開ケハ果シテ醜体ヲ見ル故ニ之ヲ
裁判所ニ訴ヘ出タレハ其兩人忽ケ伎罪ニ処セラレ
タリ然ルニガ^レトムランハ濠車ノ方向ヲ極シ車ヲ
進止スルノ権アリテ此ノ如キ事件ハ鑄道掛リノ選
卒ノ職掌ナル故ニ他権ヲ犯スノ罪ヲ以テ免職セ
リ

既ニ説シ如ク鑄路落成シ概覽終レハ則チ造築師ノ特
撰員ヲ廢シ新ニ一名ノ造築師ヲ撰擧シ鑄路掛リヲ命

ス

緊要ノ場所毎ニ鑄路ノミヲ監督セル造築師ヲ設置セ
リ

緊要ナル車取ニハ必ス^コンミツスエ^イドシユルベヤ
ンス^レ監吏ヲ置ク

此監吏ハ格別材番アル人物ヲ撰ミ任スルニ非ス監
察セシ件々ヲ皆造築師ニ報告スルヲ掌ル造築師ハ
鑄路ノ能ク約束ニ適スルヤ否ヲ監督スルヲ主務
トス

造築師ハ何事モ決定スルノ権ナシ必ス州知事ノ決
ヲ仰クヘシ

連車ヲ先導スル火車ノカハ造築師能ク取調ヘシ是レ
一緊要件ナリ

先導火車ハ蒸氣ヲ貯ヘ途中所々ニ用意セリ万一火車
毀損スルコトアレハ前駅ニ電信ヲ通シ用意スル所ノ火
車ヲ換用スヘシ

銚路一般ニ関スル大事件ハ建築師ヨリ監督官ニ報シ
監督官之ヲ監督官長ニ報シ而シテ執政之ヲ決ス其他
ノ小事件ハ大抵州知事之ヲ決定ス

瀛車中或ハ不慮ノ難ヲ生スルコトアリ故ニ処ニヨリ医
師稀少ノ車駅ニハ教種ノ藥品ヲ貯ヘ置クヘシ此事ハ
監督官ヨリ執政ニ告テ會社ニ命シ供ヘ置シム

其外テスル報的標ヲ銚道所々ニ建ルルコトヲ取調ヘ執
政ノ決ヲ取リテ會社ニ命シ之ヲ建シム

報的標ノ側面ヲ見スルハ瀛車通行シテ妨ケナシテ
スルノ正面ヲ見スルハ瀛車ヲ止ムヘキ暗号ナリ

此ノ如キ事件ハ凡テ監督官ヨリ告ケ執政之ヲ決
ス

瀛車進止ノ時刻ニ定則アリ最モ夏冬ニヨリテ換ルヘ
シ
瀛車ノ回轉瀛車ニヨリ遅速ノ適度アリテ過不及スヘ
キラス是等ノ定メモ監督官ヨリ執政ニ告ケテ之ヲ決
定ス

瀛車ノ相衝突スルノ難ヲ慮リ一ノ避路ヲ設ケ分線ノ
處ニ守卒ヲ置キテ僅ニ鍼ヲ捻レハ忽チ他線ニ轉旋ス
ル様ニ装置セリ守卒万一惰眠シテ捻鍼ヲ怠ルハ大
難ヲ生ス故ニ守卒交番ノ時刻ヲ定ムル究メテ緊要ナ
リ是等モ皆監督官執政ノ決ヲトリ議定ス
瀛車發轍着軌ノ時刻定リシ上ハ其時刻ヲ違ヘスシテ

来ル者ハ悉ク乗ラシムヘシ若シ票子盡レハ其餘ハ次
列車ニ乗シムヘシ
各車駅ニ乗車上中下ノ賃錢表ヲ粘壁スヘシ
鑄路不虞ノ災難アル中ハ鑄路會社ノ「ジレクトール」
吏員ニ任シ裁判所ニ出スヘシ罪ノ輕重ニ依リ或ハ罰
金或ハ入牢ヲ命セラレ、トアリ近例ヲ擧テ之ヲ証セ
シ先年里昂ヨリ巴理斯ニ行ク濠車客ヲ乗スヘキ時ニ
火藥ヲ積ミ誤テ失火シ大ニ人ヲ損害セシトアリ此ノ
如キハ全ク「ジレクトール」ノ過失ニ属ス又タ「ジレクト
ール」ノ過失ニ非スシテ不慮ノ災難ニ罹ルトアリ即チ
秘録史或ハ他ノ車吏ノ怠慢ヨリ起ル者ハ其罪ヲ長吏
ニ歸スヘカラス故ニ裁判所其人ヲ糾シ罰金入牢其罪
ニ應シ処分シ且ツ相應ノ「ドマージユアントレ」償金

ヲ命ス

鑄路會社ニ関シタル裁判所ノ法ハ極メテ嚴酷ナリ
論ハ鑄道中災難ニ罹リ死スル者アレハ會社ヨリ其
償金若干ヲ出サシム故ニ貧窮人不幸ニシテ命ヲ失
ヒ其妻子却テ之ガ為ニ安樂ニ没世スルトアリ此ノ
如ク法ヲ嚴酷ニ設ケタルハ鑄路掛リノ官吏ヲシテ
怠慢ナラシメサル良法ト云ヘシ若シ然ラサレハ一
ケ年數万ノ客ヲ運送スル故ニ鑄路ノ官員ハ必ス人
ノ生命ヲ輕ニスル者アルニ至ラン
英國ニ於テ至貧至困ノ者活計ヲ失ヒ妻子扶助ノ為
ニ鑄道ニ罹リ死傷スルモノ徃々之アリト云
濠車發軔ノ定刻ヲ謬リシ中ハ旅客裁判所ニ出訴シテ
償金ヲ得ルノ權アリ論ハ巴理斯ヨリ夕八時ニ發シ翌

朝八時ニ里昂ニ達スルノ定規ニシテ若シ一人時刻ヲ
限リタル要用アリテ乗込シキ若シ延刻ニ及ヒ之レカ
為ニ大損失等アリシキハ其事情ヲ訴ヘ償金ヲ出サシ
ムルヲ得ヘシ但シ大雪或ハ激車線等損毀スル如キ
不意ノ変アルハ是ノ限ニアラス

荷物運送

約束書ニ荷物ヲ運送スル其約束何日間ニテ何方ニ到
ルヘシト約シ其日ヲ超ユル中ハ荷主ヨリ會社ニ償金
ヲ募ルノ權アリ

論ハ夢ヲ買テ日限ヲ定メ瀛車ニ積入レ其瀛車其日
限ヲ誤リ入用ノ機會ヲ失ヒ無用ニ屈セシキハ之カ
為ニ損失シタル償金ヲ募ルヘシ或ハ又タ請取ラサ
ルモ妨ケス其夢ヲ買ヒ請

此約束ニハ種々条件多シ譬ハ荷物ヲ送ルニ先方何某
ニ送ルトアリテ其者受取ニ来ラサルキハ車驛ノ貸庫
ニ四十八時間ハ留メ置ヘシ若シ右時間ヲ過キ取ニ来
ラサルキハ一日ニ付幾許ノ庫税ヲ收メシムヘシ
英國ニ於テハ直ニ庫税ヲ收ム佛ニ於テハ四十八時
間ハ庫税ヲ徴セス

論ハ約束書ニ一キロメートルニ付十サンチムヲ取
トアレハ十サンチムヲ超ルテ許サス然レモ十サ
ンチムヨリ減スルハ妨ケス但シ随意ニスルヲ許サ
ス必ス執政ノ決ヲ取ルヘシ

郵路會社ニ於テポスト郵便ノ書翰及ヒ同局ノ官吏或
ハ電信局ノ官吏ハ無賃錢ニシテ乗車ヲ許ス之レ一ノ
約束ナリ

非常ノ時ニ當リ兵卒ヲ運送スルニハ會社所有ノ器械
ノ器械ヲ屬スル凡ソヲ盡シテ運送ス若シ甲ノ會社ノ器
械ニテ不足スルハ他ノ會社ヨリ借用シテ解達スヘ
シ此ノ時ハ海陸軍ノ士官等休暇ヲ得テ舊里ニ帰省スル
兵卒及ハ海陸軍ノ士官等休暇ヲ得テ舊里ニ帰省スル
ハ免票ヲ渡ス此免票ヲ携ル者ハ定價四分一ノ賃錢
ニテ乘車ヲ許ス
囚人ヲ運送スルニハ別ニ囚人ヲ載スル一車アリテ無
賃錢ニテ牽行スハシ若シ囚車不足シテ止ラ得スシテ
會社ノ車ニ乘ラシムルハ半賃錢ヲ拂テ例トス
貧窮人アリテ雇ヒ稼キノ為ニ他所へ赴キ或ハ同様ノ
者病ニ罹リテ飯邑スル如キハ其所ノ邑長ヨリ云々ノ
者ナルニヨリ無賃或ハ半賃ニテ乘車ヲ許スヘキ由ノ

書翰ヲ携へ來レハ大抵承諾ス是レハ規則ニ非スト雖
氏殆ント約束ニ等シキ一ノ風習トナレリ
セマンドカラシノ一^一ガツシヨ^一ニ^一教邑ヲ貫通
セマニウキシノ^一建スル道ヲ云フ^一スル道ヲ云
セマンドカラシノ^一ガツシヨ^一ニ^一ハ州會議ノ決議ヲ
經テ造ルナリセマニウキシノ^一ハ州會議ニ涉ラス州
知事ノ決ヲ以テ造ルナリ此兩道創造修理共ニ邑費ヲ
以テス
セマンドカラシノ^一ガツシヨ^一ニ^一ハ州會議ニ於テ商
議シ其邑ノ大小ニ應シ彼所ヨリ此所マテノ道ハ何邑
ヨリ開ト何方ヨリ何方マテノ路ハ某邑ヨリ修繕スヘ
キ由ヲ指揮ス然レモセマンドカラシノ^一ガツシヨ
ニ^一ハ大抵州ヨリ若干金ヲ出シ助カスル^一多シ之レハ

法則ニ非スト州ヨリ助カスルヲ解シ是レ少シクセマ
ンドガランコミーカツシヨント異ナル所以ナリ
セマンウキシノハ州ヨリ助カスルヲ少シ何ヲ以テ
其費用ヲ辨スルヤ乃チサンチムアジシヨ子ールヲ
クトロワ墓地代生允管証書等ノ貯金アリテ費用ヲ補
助ス然レモ小邑ニシテ尚ホ費用不足スルハプレス
ターツシヨニテ命ス

プレスターツシヨニハ新道ヲ開キ或ハ修理ヲ加ル
ニ全邑中婦人老少ヲ除クノ外悉ク出役シテ二日或
ハ三日ノ工事ヲ助クルヲ云

教師シヤエー氏講説

工事

下

鑛山

鑛山ニ三種アリ曰ク「ミーン」又曰ク「ミニエール」曰ク「カリエール」此三種ヲ總稱シテ「ミーンストン」ト云

金 銀 白金 鈷 銅 水銀 鉄
炭 鹽

岩中ニ包含シテ蔓ヲナスモノ或ハ地中ノ盤理ニ含蓄スル者此等ノ鑛ハ「ミーン」ニ屬ス

ミニエール

地ノ表面ヨリ數寸間ニ含蓄セル鑛或ハ木根木葉等ノ石ニ化シテ燃質ヲ帯ヒタル者炭ニ代用

カリエール

石板 建築石林 大理石 プラートル カララシ

凡ノ地底ノ盤中ニ包含セル金屬ヲ「ミースト」ト云フ
然レモ錢ハ二種ニ分ツ地底ニアルハ「ミース」ニ屬
シ地表面數寸間ニ在ルハ「ミ」ニ屬ス
鑛主トナル規則「ミース」ニ「エール」カリ「エール」ニヨリ
テ左列「イリ」ニ「ス」ノ規則ヲ左ニ記ス
ミース
採鑛ハ實ニ一大事業ニシテ容易ナラス凡ソ地主タル
者ハ地ノ表面ヲ有スレモ地底ハ必自己ノ所有ニ非ス
唯ハ愛ニ九人所有地ノ相隣ルアリ其地底銅鐵アリテ
九人ノ地ニ係ルトイヘモ元來地底ハ政府ノ有タルヲ
以テ私スルヲ得ス若シ政府ニ於テ採鑛ヲ許ス「イ
レ」ハ必九人ノ中一人ニ命スト云フ
數人ニ許サル所以ハ一致シ難キヲ以テナリ一致

扱カセザル中ハ此大事業ヲ成就スルヲ難シ
爰ニ一ノ地主アリテ地底ニ金屬アルヲ察知シ之ヲ鑿
試スルニ鄰ノ地下ニ及ヒ鄰ノ地主ニ乞テ肯諾セザル
中ハ鑿出スルヲ得ス者々珍寶ヲシテ地中ノ冗物タラ
シム此ノ如キ障碍ヲ生スルヲ以テ地底ヲ地主ノ所有
トセザルナリ佛蘭西ニ於テ鑛山ノ開クル今日ノ盛大
ニ至ル所以ハ此ノ如キ障碍ナキニヨルナリ故ニ千八
百十年ノ法律ニ地底ハ皆テ政府ニ屬スルヲ布告シ
テ佛蘭西人民ハ勿論外國人ト雖モ為人正直ニシテ成
功ヲ遂ヘテ資本アル者出願スレハ則之ヲ免許ス此免
許ハ「ゴンス」エ「エ」テ「タ」ノ評議ヲ經テ國長之ヲ決定
ス
採鑛ヲ出願スル者アレハ豫メ其土地ヲ試鑿シ審ニ採

討せし者ハ非サレハ免許セス

後以テ試鑿スルニハ縦横穿鑿探討ノ術ヲ盡スヘシ試

鑿ヲナスニノ條件アリ一ハ各地主ト熟談シ相應ノ

價金ヲ出シテ鑿ルアリ是ハ政府ニ一ハ地主ニ談シテ

肯諾セサルハ政府ニ出願シ許可ヲ受テ鑿ルアリ此

時ハ政府鑛山師アソビニエールデミースヲ遣シ更ニ

探討セレノ共確兆ヲ見定メ然ル後チ之ヲ允許ス散テ

忙忽ニセム地主ノ欲セサル者ヲ此ノ如ク断然政府ヨ

リ允許スルハ地主ノ權利ヲ妨クルニ似タリト雖モ決

シテ然ラス万民ノ通宝トナルヘキ鑛物ヲ一人ノ故ヲ

以テ空シク土中ノ冗物タラシムルノ理ナケレハナリ

採鑛ヲ出願スルニハ願主願書ヲ認メ之ヲ州知事ニ呈

ス其願書ニハ先ツ鑛地ニ關係スル所ノ各地主ノ姓名

ヲ掲ケ其中ニ肯諾セサル者アレハ其由ヲ記ス然ルキ

ハ州知事其肯諾セサル者ヲ召シテ其事情ヲ問ヒ若シ

鑛物ナキヲ確知シテ肯諾セサル由ヲ答フル者アレハ

則鑛山師ニ命シテ之ヲ實檢セシメ果シテ鑛物ナケレ

ハ則止ム若シ其確兆ヲ得サレハ則其趣ヲ記シテ執政

ニ上告ス執政即鑛山會議ヲ起シ精評ヲ盡シ「コンスエ

」エテ「ター」ノ鑛山課ニ送り熟評ヲ受ケ然ル後チ執政

州長ニ乞ヒ命令トナス

假令「コンスエ」エテ「ター」異論アルモ取舍ハ執政ノ

權ニアリ

地底鑛物アルヲ審察シテ既ニ採鑛ノ免許ヲ得レハ地

主何程厭忌ストモ断然鑿坑スヘシ然レモ炭ニ又一ノ

規則アリ千八百十年ニ布告セル鑛山ノ法律ニ云リ地

大政

主ノ墻壁アル境内ハ其地下何等ノ鑛物アリト雖モ地
主許諾セザレハ政府ニ於テ鑿坑スヘカラスト何故ナ
レハ墻壁内ニ踏入り根リニ鑿リ荒ヤルハ地主ノ大
ニ困却スル所ナリ又墻壁外繞圍百メートル内ハ地
主ノ許諾ヲ受リレハ鑿ルヲ許サス

壁外繞圍百メートル内ニ他ノ地主ノ地所交錯
セルアレハ其地主ノ許諾ヲ受レハ鑿坑シテ可ナ
ルヤ法律ニ於テ未タ確定セス裁判所ニ於テモ亦
未タ定論ナシ上等裁判所ニ於テ此ノ如キ條件ア
レハ假令他ノ地主承諾スルモ壁外百メートルノ
間ハ鑿坑スルヲ許スヘカラストノ議論アリ政府
ニ於テハ壁外交錯ノ地ハ其地主許諾スレハ鑿坑
ヲ禁スルノ理ナシ若シ之ヲ禁スルハ左方ノ地

主ノ權利ヲ全フスト雖モ右方ノ地主ノ權利ヲ奪
フニ當ルヘシト是亦一埋アリ他日何レカ公論ニ
帰スヘキ

政府ノ免許ヲ得テ己ニ鑿坑ヲ掘ケレハ他人來リテ其
境内ヲ探討スルヲ許サス假令願主ノ志ス鑛物ハ石炭
ニシテ他ヨリ探討セントスル者ハ鉍錫ナリモ其境内
ナレハ許サス

試鑿中ハ他人同シク試鑿センテ其地主ニ乞ヒ
許諾ヲ受レハ鑿ルヲ得ヘシ万一此事ニ於テ争
論起レハ其曲直是非ハ裁判所ニ於テ判決ス

採鑛ノ免許ヲ乞フニハ鑛地圖面并ニアウエルチスマ
ニテ願書ニ添テ州知事ニ出スヘシ

願書ノ書法

一 領主ノ土地ノ州邑種業姓名

一 開墾地所ノ州邑名

一 墾地ニ關係スル地主ノ姓名

一 墾物ノ性質

一 墾地限界并ニ地圖ニ記スル所ノアベセノ印ニヨリ

一 方位里數

一 一ノクノノルニ付地主ニ拂フ所ノ金額

一 全墾地ノ幅員

一 關係スル各地主ノ地所ノ幅員

一 一ノノノルニ付政府ニ收入スル金額

地圖

一 東西南北

一 河流 山脉 道路 村落

一 邑ノ分界

一 鎮地界系

一 地形ニヨリ隅角ノ所ニアベセヲ記ス

一 喩ハ「ア」ヨリ「ベ」マテ東方ニ向ヒ何十「メ」ト「ル」ベヨ

リ「セ」マテ南北ニ向ヒ何百「メ」ト「ル」ト願書ニ記シ

一 方位里數ヲ知り易カラシム

一 「ア」ヴェルチスマン

一 「ア」ヴェルチスマンハ毎歲徵稅司ヨリ各戸ニ渡ス

一 所ノ小冊ニシテ各戸一歲中掃フヘキ所ノ諸稅額

一 ヲ記載セリ既ニ稅ヲ納ムレハ徵稅司ノ受取証印

一 ヲ得テ之ヲ各家ニ藏ス今願書ニ添テ出ス所以ノ

一 由ノハ願主ノ財産ヲ徵証スル為メナリ

一 州知事願書及ヒ地圖ヲ在州ノ鎮山師ニ出ス鎮山師異

録
凡ソ四ヶ月間州ノ首府郡ノ首府領地ニ係ル各邑
凡ソ四ヶ月間州ノ首府郡ノ首府領地ニ係ル各邑

凡ソ四ヶ月間州ノ首府郡ノ首府領地ニ係ル各邑

凡ソ四ヶ月間州ノ首府郡ノ首府領地ニ係ル各邑

凡ソ四ヶ月間州ノ首府郡ノ首府領地ニ係ル各邑

凡ソ四ヶ月間州ノ首府郡ノ首府領地ニ係ル各邑

凡ソ四ヶ月間州ノ首府郡ノ首府領地ニ係ル各邑

凡ソ四ヶ月間州ノ首府郡ノ首府領地ニ係ル各邑

凡ソ四ヶ月間州ノ首府郡ノ首府領地ニ係ル各邑

粘壁シテ之ヲ公告スルニ三ノ目的アリ

第一

願主採鑛ヲ出願セサル以前ニ鑛物ヲ発見セシ者アラ
ハ訴出セシメン為メナリ

第二

鑛地ニ付其邑中人民ノ障碍トナルヘキコトノ有無ヲ開
ク為メナリ

第三

互ニ鑛主トナラシムルヲ競争企望スル者ノ為メナリ
以上三ヶ條ニ於テ訴出ル者アレハ州知事即其願主ヲ
召出シ条件ヲ推問シ或ハ其訴出シモノト對議セシメ
其理非ヲ判決ス

粘壁期限四ヶ月ノ終リニ至レハ則邑長ヨリ種々ノ手
段ヲ盡シ普ク告知スルト雖モ異議ノ者ナキ由ヲ州知
事ニ報告ス州知事即チ其條ヲ新聞紙ニ出シ畢テ後鑛
山師ニ告ク鑛山師共手段ヲ盡ヒシヤ否ヲ審察シ果シ
テ邑長ノ言ノ如クナレハ則鑛地ノ略圖ヲ草シ土地ノ

惟復鑿就ノ方法異論者ノ旨意及ヒ自己ノ所見ヲ記シ
テ鑛山師長ニ函ス鑛山師長モ亦自己ノ存意ヲ書シテ
別知事ニ出ス州知事之ヲ閱シ自己ノ所存書ヲ添テ執
政ニ呈ス執政省中ノ鑛山寮ニ回シ其「ド」シエ「ド」
シエ「ド」ノ事件ニ付人々ノ所ノ異同ヲ檢閲セシメ之ヲ
存書ヲ取集ノタル者ヲ云フノ異同ヲ檢閲セシメ之ヲ
鑛山會談ニ出ス議員ノ中鑛地所轄監督長官佛國ヲ十
部ニ分テ所轄スル
既ケリ「ド」ノ人任當シテ草案ヲ稿シ會議ヲ榮ス衆評已
ニ定ムレハ則執政ニ復致ス執政自己ノ存意ヲ著シ他
ノ存意書ニ副テ「コン」スエ「ド」エ「ド」ノ鑛山課ニ示シ
異議ナケレハ則國長ニ呈シ命令ヲ乞フ

是ノ如ク數多ノ手ヲ經テ熟議精評ニ涉ル故ニ大抵
「コン」スエ「ド」エ「ド」ニ於テモ異論アルヲナシ万
一異論アリト雖モ執政ハ之ニ關係ナク國長ニ出シテ

命令ヲ乞フ「ド」ヲ得ヘシ然レモ始メヨリ「コン」スエ「ド」
エ「ド」ノ「ド」ニ出サスシテ直ニ國長ニ呈スルハ亦規則
ノ許ナ、ル所ナリ

國長決定シテ命令ヲ下セハ則執政之ヲ受テ州知事ニ
傳ヘ州知事之ヲ願主ニ達シ而シテ又其趣ヲ始ノ如ク
州郡ノ首府鑛地ニ所屬ノ各邑願主ノ在邑ニ粘壁公
布ス

命令書中ニ願主ノ姓名鑛地ノ界限幅員關係ノ邑
名地主ニ收ムル所ノ金額一エ「ド」ノ「ド」ニ付五サ
ニ付「ド」ヲ常規トス
ヲ記載スルヲ例トス

或州ニ於テハ鑛物ノ出額二十分ノ一ヲ地主ニ收
ムルノ約束ヲナス然ル中ハ其趣ヲ願書ニ記ス故
ニ命令書ニモ其旨ヲ掲クヘシ法律上ヨリ之ヲ論

忠
政
書

スレハ地底ハ地主ニ属スル者ニ非サレハ鑛物ニ
付テ地主ニ税金ヲ收ムルノ理ナシ然レモ舊來一
ノ慣習トナリテ此約束ヲナス者往々アリ
シヤユエ一氏曰ク一エクタールニ五サンチーハ
ヲ地主ニ收ムルハ太々些少ナルカ如シト雖モ然
ラス如何トナレハ地底ハ鑿坑ヲナスト雖モ地ノ
表面ニ関セサレハ全ク耕耘ヲ害スルナシ素ヨ
リ地底ハ地主ノ所有ニ非サル理上ヨリ推論スレ
ハ全ク拂ハサルモ可ナリ然ルニ尚ホ五サンチー
ムヲ收メシムルハ地主ニ於テ意外ノ餘益ヲ得ル
ニ當レリ凡ソ鑛山ヲ起ス者或ハ望外ノ鴻益ヲ得
或ハ意表ノ損失トナルナリ豫メ之ヲ卜知スル
能ハス故ニ採鑛ヲ志ス者甚々少シ最モ此損益ニ

拘ハラズ土地及ヒ鑛物ノ出願ニヨリ政府ニ徴ス
ル常額ナリ所関ノ地主ニ拂フ所ノ金額ヲ多クセ
ハ採鑛ヲ願フモノ絶止スルニ至ラン
鑛山ヲ開クニ三条ノ約束ナリ

第一

願主ヨリ以前ニ鑛物ヲ發見セシ者ニ對シテ約束

第二

表面ノ地主ニ對シテノ約束

第三

政府ニ對スル約束

第一ノ約束ハ願主ヨリ以前ニ鑛物ヲ發見セシ者アリ
トモ資本及シテ開鑛ノ宿志ヲ果ス能ハス或ハ開
鑛ヲ出願シ政府ノ許可ナキカ為メニ素心ヲ違スルヲ

得申レ奉ノ者ヲレハ願主ヨリ其者ニ拂ヒ與フハ千金
物ヲ命令書中ニ揭示スニ蓋シ心志ノ勞探討ノ大費
第二ノ約束ハ表面ノ地主ニ對シ法律上ニ定メシ如ク

一ハククノルニ付キ若干ノ金額ヲ拂フハシ其他一ノ
規則ヲリ喻ハ便利ニヨリ井ヲ鑿リ或ハ鑛物ヲ運送ス
ル為ノ穴ヲ穿テ道ヲ造ル如キ都テ表面ノ地面ヲ用
ルル一ノレハ地主ニ相當ノ償金ヲ出スヘシ地ノ表面
ニ井ヲ鑿リ路ヲ造リテ之ヲ用ユル一一年ノ久キニ及
ハ、其地一年ノ所得百フランクヲ收ムル處ナレハ一
倍シテ二百フランクヲ拂フヘシ若シ一年以上之ヲ用ユ
レハ則定價ヨリ一倍ヲ増シテ其地ヲ買ハサルヲ得
ス

第三政府ニ對スル約束ニツアリ

一ハ地面一エクタールニ付キ十サンチムヲ拂フノ
約束ナリ一ハ鑛物ノ出額百分ニ付五分ノ稅ヲ收ムル
ノ約束ナリ

現今佛蘭西ノ政府ニ於テ鑛山規則ヲ一變スヘキ
ノ議論ナリ從來鑛山ヲ開クノ目的ハ天下万民ノ
洪福トナルヘキ至宝ヲ出シ得ルヲ以テ主務トス
ルカ故ニ政府ニ於テ射利ヲ論セス且ツ採鑛ヲ企
望スル輩モ稀少ナルカ為メ僅ニ百ニ五分ノ利ヲ
收ム然ルニ現今ノ如ク鑛山盛シニ開ケ鑛主利ヲ
得ル莫大ナルニ至テハ從前ノ規則ヲ變革シ收額
ヲ増加スヘシ依テ道路ノ公工ヲ受負人ニ命スル
如ク採鑛ノ志望アル者ヲ募リ投票ヲ命シ收額ノ
最モ多キ者ニ鑛主ヲ命セハ許多ノ國益ヲ増ス可

レト然レ此論未タ一定セス

鑛山ヲ免許スルニ注意スヘキ大要件アリ、喲ハ國中ニ
ニ夕所ノ石炭坑アリテ其三坑ノ鑛主ヲ一名ニ免許ス
ルハ忽チ石炭ノ権ヲ一手ニ掌握シ或ハ擅ニ價直ヲ
上下シ或ハ其邑中ニ賣ラスシテ他所ニ輸出スル等多
少ノ悲弊ヲ出シ大ニ人民ノ障碍困難トナルアリ此
等ハ政府ニ於テ速慮ナカル可カラス
開鑛ノ免許ヲ受シヨリ六ヶ月ヲ過サル中ニ云々ノ方
法ヲ以テ鑿坑スハキノ竹炭ヲ作り州知事ニ報告ス州
知事鑛山師ヲシテ其可否ヲ審議ヒシメ鑛山師之ヲ不
可トスルアレハ其鑿法ヲ改メシム可シ鑛主若シ之ニ
従ハサル中ハ鑿坑ヲ廢止スルモ妨ケス是レ他ナシ人
民ノ安全ヲ保護スル為メナリ

鑿坑ニ各種ノ法アリ地形ニヨリ其方法ヲ施サ、
レハ或ハ鑿夫ヲ傷害シ或ハ地ノ表面ヲ破壊スレ
テ往々アリ

鑛山ヲ開クニ許多ノ器械鑿具ヲ用ユル故ニ其製造良
好堅固ナラサレハ大ニ人ヲ損害スルアリ或ハ坑中
空氣不通石炭ノ瓦斯氣呼吸ヲ壅塞シ即死ニ及ブアリ
リ故ニ空氣ノ通坑ヲ通直ニ設クヘシ是等ノ事ハ恒ニ
公山事務省ヨリ注意シ廻文ヲ以テ州知事ヲ戒ム可シ
鑿夫若レ不慮ノ難ニ逢ヒ過傷スルアレハ鑛主直チ
ニ鑛山師ヲ招キテ其状ヲ告ケ鑛山師即摘據書ヲ作り
テ州知事ニ呈スルベシ
州知事ニ呈スルベシ
同官之ヲ裁判所ニ送シテ審判セ
シハ州知事モ亦公工事務執政ニ報知ス

那平公工部省ヨリ鑛山師派出シ各所管部下ノ鑛山
ヲ査察シ鑛師ノ設ケ具備セル故介抱所ノ設ケ備ルヤ
鑛賦鑿取ノ良否ヲ精閲シ諸規則ヲ遵守スルヤ否ヲ明
詳檢察シテ摘報書ヲ作り執政ニ報知ス
鑛工久シク休業スルキハ其景況ヲ書取リテ執政ニ報
告ハ執政之ヲ鑛山會議ニ出シテ商議シ鑛主ヲ免ス而
シテ他ノ懇願スル者ニ命スヘシ此時ハ出願ノ者數名
ヲ集メ各出税ノ見込ヲ言ハシメ其中尤モ高税ノ者ニ
命ス

ミニエール

ミニエールハ地表ヨリ底ニ入ル數寸ナラスレテ包含
スル所ノ鑛物ヲ云フ「ミニエール」ハ工面ノ地主ニ屬ス
ル故ニ採鑛ノ規則大ニ「ミニエール」ト異ナレリ

ミニエールニ二種アリ第一ハ地表面數寸間ニ含まレ
鑛物ナリ地主之ヲ突見シテ採收スルニハ免許ヲ受ル
ニ及ハスト雖モ其由ヲ州知事ニ届ケ置クヘシ第二ハ
「ミニエール」ニ屬スト雖モ今少シク地底ニ入りテ浅坑
ヲ穿テ採收スル鑛物アリ此採鑛ハ州知事ニ請ヒ免許
ヲ受ルヲ規則トス乃ニ三ノ約束アリ

昔時ハ鑛質ヲ含メル地ヲ有スル者アリト雖モ越
愚固陋ノ農民輩多クハ耕作ノ所得ヲ重ニシ採鑛
ノ利ヲ知ル者少ナシ故ニ千八百十年ノ法律ニ若
シ鑛ヲ含メル土地ヲ有スル者アリテ其地上採鑛
ヲ欲セサレハ同邑ノ鑛治職人ニ相應ノ償金ヲ出
シテ採鑛スルヲ免許セリ尔來人民知巧日ニ開
ケ採鑛ノ利益耕作ノ所得ニ百倍スルヲ覺知セ

シヨリ採鑛ノ術日ニ開ケ月ニ進ミ遂ニ千八百十
年ニ設ケシ鑛山法律ハ贖物トナルニ至レリ
ニ在リルハ元來地主ニ屬スル者ナレハ第二ノ条ニ
テ州知事ニ乞ヒ免許ヲ受ルノ事件アルト雖モ煩冗ノ
手段ニ涉ルヲナシ唯第一ノ条ニ比スレハ浅坑ヲ鑿ツ
テ以テ其鑿法ヲ誤レハ鑿夫過傷註疵ノ憂アル故ニ鑛
山師ヲ遣レテ其鑿法ヲ検査セシメ人民ノ安全ヲ保護
スルノミ
地山ノ所存ニヨリ邑中ノ銀冶職ニ相應ノ金ヲ拂ハシ
メ採鑛ヲ讓ルモ自由ナル可シ

カリエール

カリエール 墾石場ハ地主ニ屬ス故ニ之ヲ採收スル素
ヨリ地主ノ自由ニ任ス然レトモ其由ヲ州知事ニ告ケ

後キニ普方下取置ニ

カリエールニテ開クノ規則ハ舊時各州知事ノ存意ニ任
シテ定ム故ニ一定セズ彼ノ州ノ規則ハ煩ニ過キカリ
エールニテ起ス昔少ク此ノ州ノ規則ハ寛ニ失シ却テ之
カ為メニ人民ノ安全ヲ妨ケラレ寇角中當ヲ得ナリシ
故ニ十年以來公ニ事務省ニ於テ此規則ヲ草創シ國長
ニ請ヒ命令ヲ下シテ各州知事ニ達セリ此規則ハ極メ
テ簡易ニ設ケ唯邑中ノ障礙トナルヘキ件々ヲ制禁シ
鑿夫ノ過傷ヲ避ケシムルノ目的ニシテ畢竟人民ノ安
全ヲ保護スルヲ主要トス

此命令書ノ約束三十六条アリ然レモ之ヲ實地ニ
施行スルニ及ンテハ其地ト其時トノ景況ニヨリ
増減斟酌スルノ權ヲ州知事ニ與ヘタリ今一ヲ舉

ケテ之ヲ証ヒン有ハ道路ヨリ十ノ一トルノ距離
トケレハ石場ヲ開クヘカラスト規則書ニ見ヘタ
リト雖ヒ其場所ニヨリ往來ノ妨害ナケレハハ
一トルノ所ニ許シ或ハ地形ニヨリ障碍アレハ十
五ノ一トルノ距離ヲ置テ免許スレアリ此等皆則
知事適宜ニ取計フノ權ヲ有セリ

公山事務省ノ大畧

執收ハ省中最ヒ上等ノ長官ナリ其次ニ書記長官鈔路
橋張長官アリ此二官ハ同等ニシテ各任當スル所ノ事
務止ニ於テ執政ニ代理シ調印スルノ權アリ而シテ省
中ノ各寮ヲ分轄セリ

書記長官所轄ノ寮

書記寮

寮中一般ノ書記官アリ省中一般ノ書信ノ往復ヲ掌ル
諸方ヨリノ來信ハ書記長官一覽シテ後チ各寮局ニ分
配シ或ハ報答ス
諸方ヨリノ來翰ハ皆其部分ヲ分チ抄寫ス故ニ假令原
翰紛失スルヲアルモ抄寫ハ此寮ニ存セリ
省中所用ノ筆紙墨薪炭油蠟ノ費使丁等ノ給料ニ至ル
マテ一切ノ事務ヲ掌ル命令免許狀等緊要ノ書類ハ原
書ヲ茲ニ貯ヘ置キ寫ヲ他ニ出ス
著述家鈔路橋梁等ノ書ヲ著述シ上賣ヲ乞フ者アレハ
其本ヲ閱シ真ニ有要ナレハ買上テ造築師等ニ分配ス
ルヲ掌ル

大
政
官

寮中三局ヲ設ク

第一局

命令書免状等ヲ寫録シ省中入用ノ書籍ヲ買入ル、ヲ掌ル

第二局

省中ニ關係スル諸費一切ノ會計ヲ掌ル

第三局

省中ノ書信ヲ寫録ス

亦局ニ局長及ヒ次局長アリ寮長ハ一寮ヲ總括シ局長ハ一局ヲ總括ス

ジビジヨンドペルソ子ール官員寮

寮中ヲ二局ニ分ツ其中一局極メテ緊要ナリ

第一局

此局ハ省中諸官員ノ進退黜陟ヲ主掌ス諸官員ノ新加スル者ハ必ス此局ノ検査ヲ受ク闕員アリテ入員ヲ望ム者アレハ其名ヲ記シ検査シテ後チ撰擧ス而ル後チ始メテ官ニ就クモノハ先ツ寫字生ヲ命シテ見習ハシム

寫字生ハ千五百フランクノ歳俸ヲ與フ二年在勤スレハ千七百フランクニ上リ二年ヲ過レハ千九百フランクニ上ル四年五年ヲ經テ二千フランクヲ受ク二年以上ニ至レハ「レダクトール書記吏トナル若シ才器卓越ナレハ尋テ上官ニ進昇スヘシ然ルニ尋常ナレハ寫字生ニ止マリ生涯二千フランクノ給俸ニテ畢ル可シ

レダクトール書記吏ハ命令書ヲ掌ル歳俸二千フラン

クテ受ク是レ二年毎ニ加増シ遂ニ三千八百フランク
ニ至ル若シ伎倆アレハスーサーフ次局長ニ昇進ス次
局長ハ四千フランクヨリ五千五百フランクマテノ歳
俸ヲ受ク次局長ヨリ局長ニ昇レハ六千フランクヨリ
八千フランクマテノ俸ヲ受ク之モ二年毎ニ昇級ス上
ツチレドシビジヨリ寮長ニ至レハ一万フランク
ヨリ一万三千フランクノ俸ヲ受ク又二年毎ニ昇級ス
寮長ヨリジレクトールニ上レハ一万五千フランクヲ
受ク又轉進シテ銚路橋梁長官或ハ書記長官ニ至レハ
二万五千フランクヲ受クハシ
執政ノ歳俸現今六万フランクナリ
帝國ノ時ハ十万フランクヲ給セリ共和國トナリ
テ四万フランクヲ減省ス

シヤユエー氏曰ク佛蘭西諸省官員ノ給俸甚タ薄
少ナリ巴里府ニ住居スル者ハ僅ニ二三千フラン
クノ歳俸ヲ受テハ活計立テ難シ然ルニ官ニ就ク
者ハ皆多少ノ歲月ヲ費シ諸学科ヲ經タル者ナレ
ハ如此薄祿ニテハ官途ニ出ルヲ企望ヒサル情
アリ故ニ冗員ヲ減省シ給俸ヲ増スノ説退々發議
アレヒ因循行ハレス今之ヲ改革センニ喩ハ四分
ノ官員アラハ其一分ヲ減シ其一分ノ俸ヲ減ル三
分ノ官員ニ割平シ與ヘナハ別ニ省ノ定額ヲ増加
セスシテ改革整ヒ諸事務モ却テ辨達スヘシ其外
佛蘭西ノ愚弊ハ人物ヲ取ラスシテ年功ヲ取ルニ
アリ適々有用ノ人材アリト雖モ年功ヲ以テ進ム
故ニ老年ニ至ルマテノ間空ク人ノ下ニ屈シテ其

才力ヲ延ス可シ無ハス有志ノ輩慨歎セサル歟
シ
以此官格ノ進退無碍ヲ掌リ其草案ヲ起スハ此ベルノ
者ノ局ノ職掌ナリマタ道路橋梁造築師ノ進退モ此
局ニ於テ掌トレリ

第二局

造築師ノ旅費等ヲ分配スルヲ掌ル各國新發明等ノ
事アリテ臨時造築師ヲ派出スルアリ此旅費等此局
ニ於テ渡ス可シ官員三十年ヲ経レハ退職ヲ許ス其時
畢生多少ノ捨技持ヲ給ス是等ノ事務モ此局ノ掌メ
リ
畢生ノ捨技持ナレレバ歿後寡婦アレハ半給ヲ與フ然
レモ子ニハ及ホサス

算路爲リノ造築師ノ給俸ハ算路會社ヨリ公工事務省
ニ於テ此局ヨリ配當ス

シビジヨンドコトビトテト司計憲

此案ハ省中一切ノ會計事務ヲ主掌ス

第一局

定額表ヲ保ル爲メニ公ニ夫費ヲ取置キ議院ノ投票
ニヨリテ議定セシ金額ヲ各署ニ分配スルヲ掌ル
ラドントナンスペイマント云フモノヲ定額表ノ上ニ
記スル等ノ事ヲ掌ル

毎月會計事務省ヨリ渡ス所ノ金額ヲ分配スルヲ掌ル
千八百七十二年非常ノ入費五千三百九十一万千
八百五十九フランク平常ノ入費八十五萬九千八百
八十八フランクニ及ヘリ然ル

ニ之ヲ一時ニ渡サス月々會計事務省ヨリ一ヶ月
分ツ、ノ入費ヲ問ヒ合セテ拂ヒ出スヲ此局ニ於
テ各署諸方ニ分配スルナリ

ラドンドンチンスデペイマンハ金ヲ拂フニ付テ何
方ニ幾額ヲ拂ヒ出スハキ旨ヲ執政ヨリ國ノルソ
スエウエール^ル 收納吏ニ命令スルヲ云フ州ニ於テ
ハ州知事此命令ヲ下スヘシ州ニ「ペイヨールゼネ
ラル^ル 拂人長吏アリ」ルツスエウエールバルチキエ
リエール^ル 縣ノ格段金請取人アリ「ルツスエウエー
ルスエツトール^ル カントニ」ニ在ル徵稅吏アリ
ベルスエツトール^ル 毎月邑中ノ稅ヲ聚メ縣ノ「ルツ
スエウエール^ル バルチキエリエール^ルニ渡ス是等ハ
皆命令^ヲ下ス人ナケレハ決シテ金ヲ出スヲナシ

此規則極メテ嚴格ナリ

第二局

養杖持等ヲ典フル命令書ノ草案ヲ稿シ及ヒ之カ會計
ヲ掌ル

鑛山寮

鑛山寮ハ鑛物ニ関スル事務一切ヲ總掌ス寮内二局ニ
別ケテ事務ヲ分掌ス

第一局

鑛物ノ探討穿鑿免許或ハ命令等ノ事務ヲ掌ル
アンビニエール^ル デミース^ル 鑛山師ハ一年ニ少クモ一回
派出廻覽ス廻覽スル毎ニ自己ノ所存書ヲ本省ニ送呈
スルヲ執政此局ニ下シ回答セシム
鑛山ノ雇支傷害等アレハ則チ其鑛主ヨリ償金ヲ出ス

規則ナレトモ時間ヲ費ス故ニ州知事ヨリ電信ヲ以テ報
告アレハ公工事務省ヨリ速ニ金ヲ出シ急ヲ救フア
リ是等ノ事務ヲ掌ル
佛蘭西ニ於テ都テ蒸氣器械ノ監督ハ鑛山師之ヲ任當
ス譬ハ英國ニ一ノ蒸氣器械製造所アリテ之ヲ佛國ニ
用ユルヲアレハ先ツ鑛山師ヲ遣ハシテ實檢セシメ後
チニ之ヲ用ユ是等ノ事務ヲ掌ル

第二局

金屬ノ製造所ノ事務ヲ掌ル

金屬ノ製作所ハ猶ホ鑛山師監督ヲ任ス故ニ事ア
レハ皆此局ニ於テ取扱フナリ

鑛泉ノ事ヲ任掌ス

若シ鑛泉ノ人身ニ藥スヘキ場所ヲ見出サハ公益

ユチリテトピユフリツクノ命令ヲ布告シテ其鑛

泉ヲ保護スル為メ其周圍ニ井ヲ鑿ルヲ禁スル等
ノ規則アリ是等ノ事ヲ掌ル

各州ニ於テ鑛山師州中ノ土地ノ性質ヲ分析シ或ハ地
ノ高低ヨリ土性ノ異ナル等ヲ色別シタル画圖ヲ建稿
上板スレハ公工事務省ニ買入レ諸建築師及ヒ鑛山師
掛リノ官吏ニ分配スル等ノ事ヲ掌ル

シヤユエー氏曰ク現今佛ニ於テ大抵此画圖ヲ作
ラサル州ナシ之ヲ見レハ全國ノ地質一目瞭然タ
リ

鑛山一エクタールニ付キ地五或ハ政府ニ徵収スル税
ノ約束等ノ事ヲ掌ル

圖画業

公工ニ關係スル圖面ヲ裁ス

此案極メテ微ニシテ官吏モ亦他案ノ如ク具備セ
ス然レモ案ノ名アリ故ニ茲ニ併セ掲ク

鑄道橋梁長官所轄ノ案

道路橋梁案

道路橋梁案ニ局ニ分ツテ事務ヲ分掌ス

第一局

全國ノ大道橋梁造管修繕ノ事務ヲ掌ル

第二局

州中ノ道路橋梁造管修繕ノ事務ヲ掌ル

運漕河案

案中三局ヲ設ケ運漕河ノ事務ヲ分轄ス

第一局

高港及ヒ燈臺堤防等ノ造管修繕ヲ掌ル

第二局

運漕河通船ノ公工河枕渡船河獵規則等ノ事務ヲ掌ル

第三局

船艦ヲ浮ヘ難キ河流ヲ浚ヘ小艇ヲ通シ或ハ池沼ノ埋
地等ノ事務ヲ掌ル

鑄道第一案

鑄道第一案中二局アリ

第一局

鑄路ノ公工ヲ取調ルヲ掌ル

第二局

免許約水ノ事務ヲ掌ル

鑄道第二案

鑄道第二寮中二局アリ

第一局

商品運送及ヒ定價表ヲ作ルヲ掌ル

第二局

鑄道ノ修繕或ハ先導火車ノ事ヲ掌ル

省中ノ結構大畧如此此外代言師五名付属セリ然レモ
常ニ出仕スルヲナク事務アリテ命スル片ハ日給ヲ與
フ又鑿師二名ヲ付属ス省中ニ於テ不時發病等ノ為メ
ニ備フ日給等代言師ニ同シ

シヤユエー氏曰ク佛國各省ノ体裁一ヨリ順ヲ逐
テ十二至ル十ヨリ順ヲ繼テ一ニ至ル如ク上ヨリ
下ニ達シ下ヨリ上ニ開スル一モ上越下越スル能
ハス是レ他ナシ輕忽過失ナカラシメン為メナリ